

審議会等会議録

会議の名称	令和元年度 第2回第20採択地区教科用図書採択地区協議会
開催日時	令和元年 7月8日(月) 午前9時00分から午後2時30分まで
開催場所	加須市役所 3階 全員協議会室
議長氏名	渡邊 義昭
出席委員	秋本 文子 柿沼 拓弥 高瀬 賢一 小林 義之 福田 孝夫
欠席委員	なし
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 調査員の教科用図書調査研究報告について (1) 国 語 (2) 書 写 (3) 社 会(含地図) (4) 算 数 (5) 理 科 (6) 生 活 (7) 音 楽 (8) 図画工作 (9) 家 庭 (10) 保 健 (11) 英 語 (12) 道 徳 4 事務連絡 5 閉 会
会議資料の名称	【次 第】 【資料1】教科用図書調査研究報告書 (小学校) 【資料2】埼玉県教育委員会調査資料(令和2年度使用) 【資料3】各小学校、保護者研究調査結果報告書 【資料8】教科書採択における法令遵守について(通知)
会議の公開又は非公開の別	公 開
非公開の理由	静謐な調査研究環境及び採択環境の確保のため
傍聴者の数	午前6人 午後5人
事務局職員職・氏名	加須市教育委員会学校教育課長 渡邊 典孝 羽生市教育委員会学校教育課長 矢野 渡 加須市教育委員会学校教育課指導主事 清水 博文 羽生市教育委員会学校教育課指導主事 柿沼 宏充
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発 言 者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
渡邊学校教育課長	【開会】
第20採択地区 教科用図書採択 地区協議会 渡邊 義昭会長	【あいさつ】 第20採択地区教科用図書採択地区協議会 会長あいさつ
渡邊学校教育課長	<p>【議事】</p> <p>本日の資料確認</p> <p>①本日の「次第」</p> <p>②教科用図書調査研究報告書（小学校） 【資料1】</p> <p>③埼玉県教育委員会調査資料（令和2年度使用） 【資料2】</p> <p>④各小学校、保護者研究調査結果報告書 【資料3】</p> <p>⑤教科書採択における法令遵守について（通知） 【資料8】</p> <p>【資料4】～【資料7】については、中学校の内容となるので、明日配付する。</p> <p>協議の進行については、第20採択地区教科用図書採択地区協議会規約第9条第2項により、第20採択地区教科用図書採択地区協議会会長の渡邊教育長にお願いする。</p>
渡邊会長	<p>前回に引き続き、委員の皆様におかれましては、熱心な御協議をお願いする。</p> <p>はじめに、第20採択地区教科用図書採択地区協議会規約第10条により、この会は公開とするが、よろしいか。</p>
各委員	(賛成の声)
渡邊会長	<p>この会を公開とする。</p> <p>傍聴人は来ているか。傍聴人がいれば、案内するよう願う。</p>
	(傍聴人 6人 着席)
渡邊会長	事務局より調査研究報告について説明をお願いする。
清水指導主事	<p>本日の調査研究報告ですが、担当指導主事が、教科ごとに全部の教科書について、調査員が作成した資料「教科用図書調査研究報告書（第19・20採択地区 調査員調査研究会）」に基づいて報告する。</p> <p>報告後、質疑を行う。報告は、「平成32年度使用小学校用教科書目録」の順で行う。また、埼玉県教育委員会の調査資料も参照願う。</p>
渡邊会長	質問はあるか。
各委員	(なし)

渡邊会長

それでは国語からお願いします。

【国語】
柿沼指導主事

小学校 国語について報告する。

新しい国語 東書

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

・言葉を集め、文の中で使う練習をする「ことばあつめ」を設定している。

・巻末の「言葉の広場」を参照・活用することで、さらに豊かな語彙を身に付け、学習や日常生活に生かすことができるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・各領域の学習過程において、各所で児童が考えを伝え合う場面を丁寧に描写してあり、それぞれの考えを広げ深める、対話的な学びになっている。また、段階的に伝え合う力の育成が図れるようになっている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・4年生ではパソコン入力、5年生では日本語と英語の文法の違い、6年生ではインターネットへの投稿について取り上げられていて現代的な課題に沿っている。

<読書に親しむ態度を育成するための工夫>

・1～6年生まで学校図書館に関する教材を設定しており、3年生以上は各学年で分類について取り上げている。

<資料>

・4年生までは上下巻に分かれ、5・6年生は1冊にまとまっている。

・3年生から目次にQRコードがついている。内容は、朗読音声や漢字学習の資料が提示されている。

・本の紹介では、実在する作家の言葉が紹介されている。

<表記・表現>

・2年下巻まで分かれ書きになっている。

・入門期は時間をかけて取り組めるような構成になっている。

<総括>

・見通しをもって学習できるよう、各単元を「つかむ」「取り組む」「振り返る」という構成にして、学習過程を明示している。

・思考を言語化し、整理したり深めたりしながら考えを形成する手立てとしてノートやメモ、カード、図表、対話等の例を取り入れて提示している。

みんなと学ぶ 小学校国語 学図

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

・上巻巻頭で身の回りから語彙や出来事を書きためる活動を設定している言葉集めを促し、巻末「言葉の部屋」を併用することで、集めた言葉を表現の場で活用することができるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・各領域の学習過程において、互いの意見を比べたり、文章の良さを見つけ、感想や意見を伝えたり、自分の考えをまとめたり広げたりして、伝え合う力が段階的に高まるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・各学年で「対話の訓練」と題し、コミュニケーションの取り方を学ぶ単元があり、言葉を通じた人間関係の構築に役立つ。

〈読書に親しむ態度を育成するための工夫〉

・1年上巻から学校図書館に関する教材が設定されている。2～5年生で図鑑、百科事典、年鑑、インターネットでの情報検索を学ぶ教材がある。

〈資料〉

・全学年上下巻に分かれている。
・各学年QRコードがついている。内容は、ワークシートや教材文の内容に関連するサイトへのリンクが中心である。
・教科書への書き込みがしやすいように、書き込み部分の枠等が大きめにとられ、教科書そのものがワークシートとして使えるように作られている。

〈表記・表現〉

・2年上巻の途中までが分かち書きである。
・入門期は、児童がスムーズに様々な学習を始められるよう、複数の教材を組み合わせで構成されている。

〈総括〉

・学習過程を明確にし見通しをもって学習できるよう、展開する活動の概要を単元冒頭に提示する、学習活動の流れを見開きで示す等の工夫をしている。
・「考えの形成」が重視された教材を設定し、自分の考えを表現する場を確保するように配慮されている。

ひろがる言葉 小学国語 教出

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

・巻末の「言葉の木」では発達段階にそった言葉を、「言葉のまとめ」では文型をまとめて掲載することで、学習や日常生活に生かすことができるように工夫されている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

・各領域の学習過程において、互いの立場を尊重しながら、課題の解決に向けて意見や感想を述べ合う「学び合い」の場を設け、伝え合う力の育成を図っている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

・高学年では、言葉による伝え方や聞き方のトレーニングが一つの単元として設定されており、他者とのつながりを意識できるようになっている。

〈読書に親しむ態度を育成するための工夫〉

・低学年から、学校図書館に関する読書単元が設定され、2～4年生で情報検索や情報活用の読書単元があり、系統的に学習が進められる。

〈資料〉

・全学年とも上下巻に分かれている。
・各学年の目次にQRコードがついており、資料の数も比較的多い。ワークシートや関連画像等が見られる。
・点字資料が印刷ではなく、実物と同じで実際に触れてわかるものになっている。

〈表記・表現〉

・2年上巻（1学期）まで、分かち書きで書かれている。
・入門期は、生活科など他教科と関連させて指導できるつくりになっている。

〈総括〉

・学習の展開や段階を明示したり重点化を図って取り立てたりすることで学習過程がはっきりわかり、見通しをもって学習できるように配慮されている。

・学習者が自らの考えを形成し、深化、拡充させられるよう、「てびき」に学習活動を設定したり、自分の考えを形成するための観点を例示したりしている。

国語 光村図書

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

・各単元で何を学んだかを明確化し、身に付いた知識や技能が他教科や日常生活にどう生きるのかを示すことで、実生活で活用できるように工夫されている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

・各領域の学習過程において、対話によって考えを明確にしたり、互いの考えや感じ方の共通点や相違点を見つけたり、グループで考えを広げたりまとめたり、伝え合う力が系統的に深まるように工夫されている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

・3年生から「対話のれんしゅう」として、立場を決めて討論する単元が設定されており、相手に伝える・伝わるよさや他者との関わりによる意見の深まりを感じられるようにしている。

〈読書に親しむ態度を育成するための工夫〉

・「図書館を知る系列」では、1～3年が学校図書館、4～6年が地域の図書館などに関する教材を設定している。

〈資料〉

・4年生までは上下巻に分かれており、5・6年生は1冊にまとまっている。

・各学年の教科書にQRコードがついている。内容は話し合いや発表のモデル動画や教材文の朗読音声など豊富で、言語活動に役立つものとなっている。

・点字の資料が印刷ではなく、実際に触ってわかるようになっている。

〈表記・表現〉

・2年下巻途中まで、分かち書きになっている。

・入門期は、みんなで話したり聞いたりするものを中心に、学習の基礎を作るための教材が設定されている。

〈総括〉

・学習過程を明確にし、見通しをもって学習するための配慮として、単元の初めに学習の進め方を示したり、学習活動を見開きで提示したりしている。

・「見通しをもとう」で「考えの形成」についての活動を設定し、単元の「ふりかえろう」で考えをもち、主体的に学習の確認ができるようになっている。

渡邊会長

質問等はあるか。

渡邊会長

2年生の上巻または2年生下巻まで分かち書きと表現がでていますが、学習指導要領の解説等補足することはあるか。

柿沼指導主事

調査研究の中では分かち書きについて話し合いを行っていない。ま

	た、学習指導要領にも分かれ書きについて深く書かれていない。
福田委員	読書に親しむ態度を育成するための工夫がまとめられている。読書離れが叫ばれており、国語において学校図書館や地域の図書館を活用することが重要であると考える。
秋本委員	QRコードについて、すべての発行者で詳細に記載されており比べやすいと感じた。
渡邊会長	東書の報告で入門期は時間をかけて取り組めるような構成になっているとあったが、そこに時間をかけると他の部分に影響が出るのではないか。
柿沼指導主事	各発行者とも幼から小、小から中の接続に力を入れていると感じている。
渡邊会長	各発行者、入門期について丁寧に扱っているということではよいか。
柿沼指導主事	よい。
渡邊会長	学図の報告に教科書への書き込みがしやすいように、書き込み部分の枠等が大きめにとられ、教科書そのものがワークシートとして使えるように作られているとあったが、大きさや厚さ等問題はないか。
柿沼指導主事	調査員からは、枠が少し大きめに作られていると報告があがっている。また、大きさや重さについて低学年では上下巻に分かれており特に問題はないと意見があった。
渡邊会長	学年によって1冊の学年と2冊の学年があるがその量はどのような影響があるのか。
柿沼指導主事	国語は、毎日授業があるが、家で音読の練習を宿題としている学校もありほぼ毎日持ち帰りをしている。それぞれのメリットは、合冊は振り返りが容易にできる。分冊は中身が充実している。ということがあがっていた。
渡邊会長	教科書自体が重くなってきており、毎日の持ち帰りは大変である。また、置いていくとしても施設の構造が適していない。カバンを含めた重さは、どれくらいか。
柿沼指導主事	4.5kgから5.5kgである。高学年ほど重くなっている。
渡邊会長	そういった視点も必要であると考える。
小林委員	科目によっては、縦のサイズに差があり、大きいものは見やすいが、机の大きさから考えると蔑ろにできない。
渡邊会長	他にあるか。
各委員	(なし)

渡邊会長	次に書写をお願いする。
大澤指導主事	<p>新しい書写 東書</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じて重点化しながら、系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できるように工夫している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字例や問い掛けの文で課題への気付きを促したり、「振り返ろう」では話し合う活動を取り入れたりしている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「書写のかぎ」を集めることで一人一人に達成感を味わわせるとともに、上達したことを実感し意欲が高まるよう工夫されている。 <p><毛筆と硬筆との関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆学習の後に、「生かそう」でその単元で学習したことを確認しながら硬筆で書く活動が設定され、教科書に書き込めるようになっている。 <p><各教科や日常生活との関わり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習事項と合わせて指導できるように、教科書と同じ教材文や言語事項を取り上げている。 <p><資料>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文字のいずみ」のコーナーがあり、各学年に応じて身近な内容を取り上げている。 ・文字の書き方や用具の扱い方などを視聴できるようにQRコードが添付されている。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、鉛筆を中心とした硬筆の学習においても手本の文字が毛筆書体となっていて、画の重なり方がよく分かるような色使いになっている。 ・筆順の学習では文字の筆順やつながりがわかるように点画を色分けして示されている。 <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書写のかぎ」で学習のねらいを的確におさえると同時に、その前後の流れの中で自らねらいに気付かせたり確かめさせたりするように工夫されている。 ・インデックスで内容の分類や関連を示す工夫がされている。 <p>みんなと学ぶ 小学校書写 学図</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何が身に付いているか」を実感できるように、書写学習プロセスが示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書き方のかぎ」で一度文字を書いてから、どこを直したらよいか、自分で考えさせる活動がある。 <p><学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時の学習過程を1→2→3と「ふりかえり」で構成し、型を定着させて見通しを持って主体的に取り組みせるよう工夫している。 <p><毛筆と硬筆との関連></p>

・毛筆学習の後で「生かして書こう」と「振り返ろう」があり、学習内容を確認しながら硬筆で教科書に書くようになっている。

<各教科や日常生活との関わり>

・各学年とも、単元の終わりの「ふりかえろう」において、自分で考えた言葉や文字を書くことで日常化を図っている。

<資料>

・全学年を通して「書写の不思議」のコーナーで書写にかかわる身近なものに対する疑問を、写真資料を中心にわかりやすく紹介している。

・教材や用具の扱い方視聴できるようにQRコードが添付されている

<表記・表現>

・毛筆の手本を原寸大で掲載し、書き込み欄を多く設けている。

・キャラクターの会話を通して使い押さえないポイントを分かりやすく示している。

<総括>

・「書き方のかぎ」で学習のねらいを的確におさえるとともに、その前後の流れの中で、試し書きで自らねらいに気付かせたり、毛筆と硬筆を関連づけて確かめさせたりする工夫がされている。

・細かな説明が多く、自発的に考えることができるよう工夫されている。

小学 書写 教出

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・準備や片付けの写真や図版を活用し、平易に活用するなど、児童自身が見て理解し、実践できるようにしている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・「考えよう」を提示し、その答えを児童自ら考えさせるようにして、思考力を高めている。

<学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫>

・学習過程を1～7段階で細分化し、スモールステップで具体的な学習の進め方を示し、主体的に取り組みせるよう工夫している。

<毛筆と硬筆との関連>

・毛筆学習の前後に「ためし書き」と「まとめ書き」を硬筆で教科書に書くようにしている。

<各教科や日常生活との関わり>

・授業と合わせた指導ができるように、国語の教科書で学習した教材を使用している。

<資料>

・全学年において、「知りたい文字の世界」のコーナーがあり、書写に関する知識に触れる事ができるようになっている。

・文字の書き方を動画で確認できるように、QRコードが添付されている。

<表記・表現>

・筆圧の入れ具合を大中小と示し、分かりやすく伝えている。

・低学年では字のマスをもつ部屋に分け、書き始めの位置を分かるように示されている。

<総括>

・「ここが大切」で学習のねらいを的確におさえるとともに、その前後の流れの中で、自らねらいに気付かせたり、毛筆と硬筆を関連づけて確かめさせたりする工夫がされている。

- ・細かな説明が多く、ねらいに対して自力解決を促すよう工夫されている。
- ・高学年では複数の学習方法を示し、選択できるよう工夫されている。

書写 光村

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

- ・「たいせつ」を設け、他の字を書くときにも活用できる基礎・基本を明確に示している。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- ・「たしかめようシール」を自分の書いた文字に貼ることで筆使いのポイントを確認し、学びが整理できるよう工夫されている。

<学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫>

- ・毎時の学習過程を1→2→3と自己評価で構成し、型を定着させ見通しを持たせて主体的に取り組めるよう工夫している。

<毛筆と硬筆との関連>

- ・毛筆の学習の後に「硬筆のまとめ」で学習した筆使いを確かめながら硬筆で書く活動を取り入れている。

<各教科や日常生活との関わり>

- ・国語の授業と関連付けて学習できるように、教科書の教材とリンクしているので、教科学習の参考資料として活用することもできる。

<資料>

- ・各学年で「もっと知りたい」コーナーを設け、写真とともに説明資料を掲載している。
- ・3年生以上で教材にQRコードを添付したり、6年生では6年間で学んだことを日常生活に生かせるように「書写ブック」を添付したりしている。

<表記・表現>

- ・毛筆教材では、ポイントを示し、筆の穂先の動きを赤で示している。
- ・ねこのイラストで「とめ」「はらい」をわかりやすく示している。

<総括>

- ・「たいせつ」で学習のねらいを的確におさえるとともに、自らねらいに気付かせたり確かめさせたりするように工夫されている。
- ・毛筆開始の3年生でシールを用いて筆遣いが定着するよう工夫されている。
- ・紙面構成がシンプルであり、大切なところに視点が定まりやすい。

小学書写 日文

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

- ・学習過程を明確にするために「①考える②確かめる③いかす」の3段階の学習コーナーが設定されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- ・間違いやすい書き順の例、形が違う作品の例を出して、比べることにより、児童自らどこに注意すべきか考えさせている。

<学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫>

- ・毎時の学習過程を1→2→3と自己評価で構成し、型を定着させて見通しを持って主体的に取り組ませるよう工夫している。

<毛筆と硬筆との関連>

- ・毛筆学習の後に「いかす」があり、学習内容を確認しながら教科書

	<p>に書き込むようになっている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じて必要な「書くこと」に関する技能を身に付ける事が出来るように、絵日記や連絡帳などの書き方について学習できるようになっている。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年では、書く場所や目的に合った様々な筆記具を紹介し、太さや書いたときの特徴などを写真で説明し、いろいろな場面でどの筆記具を使えばよいかを考えさせている。 ・教科書デジタルコンテンツ（動画）をいつでも・誰でも視聴することができるようになっている。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き順に指のマークがあり、低学年でも分かりやすくなぞることができる。 ・毛筆用具の扱い方が写真を使い、分かりやすく示している。 <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「電球マーク」で示して学習のねらいを的確におさえ、自らねらいに気付かせたり、毛筆と硬筆を関連づけて確かめさせたりする工夫がされている。 ・「言葉のまど」で言葉への関心を高め、言葉の使い方の幅を広げられるよう工夫されている。
渡邊会長	質問等はあるか。
渡邊会長	各教科や日常生活との関わりについて、日文の報告には、具体的に絵日記や連絡帳が示されているが、光村の報告では教科書の教材とリンクしているとしか書かれていないので、具体的にどことリンクしているのかわからない。
大澤指導主事	国語の教科書で習っている漢字とリンクしている。
渡邊会長	既習の漢字を扱った方がよいという意見が多かったのか。
大澤指導主事	半々であった。書写のねらいを達成するためには、どちらでも可能である。
福田委員	3年生から毛筆指導がはじまり、用具の扱い方が写真を使い、分かりやすく示されている発行者もある。それでも現場は大変だと聞いている。また、赤色で示されていることでわかりやすいと思った。
小林委員	東書だけ教科書のサイズが大きいのが、学習するうえで効果はどうか。
大澤指導主事	半紙とほぼ大きさの手本である良さもあれば、机の上にのせたときに場所をとってしまうという弊害もある。
渡邊会長	机の規格は40cm×60cmと決まっていたが、現在はオープンとなっている。学校によっては違う大きさの天板を使っているところがある。全国に先駆けて加須平成中と加須南小で大きい天板を使用した。

渡邊会長	最近シール等の付属品が多いが、子供はなくさないか。
大澤指導主事	教科書について離れない状態なので、なくす心配はない。
秋本委員	キャラクターの吹き出しやねこのイラスト等について意見はでたか。
大澤指導主事	かわいいキャラクターがあることで親しみがもて、興味関心をひく効果があるのではないかという意見があった。
渡邊会長	他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	次に社会・地図の順に報告をお願いします。
齋藤指導主事	<p>新しい社会 東書</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調べる」で学習課題を明確にし、巻末の「・年生で学んだこと」で振り返りを行い、学習内容の定着を図っている。キーワードを「ことば」で解説し、「まとめる」で生かせるように工夫されている。また、「いかす」では学んだことを生活に生かす工夫がある。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較する資料を同じサイズで並べて掲載してあり、比較がしやすくなっている。「いかす」で課題を解決するために、これから大切にしていきたいことを考えさせ、社会への関わり方を選択・判断させる場面を設けている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターを活用し、児童が社会的な見方・考え方を働かせて主体的に問題解決できるよう工夫している。 <p><学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」などの学習過程をたどりながら問題解決的な学習を進めることができるようになっている。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例地に偏りが無いよう、学校や地域の実態等に対応する配慮がされているとともに、全体にわたり児童の興味・関心が高められるような資料が使われている。 ・写真やイラスト、表やグラフ等の資料を多く用い、それぞれの資料に資料番号が付けられている。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターが登場し、児童が社会的な見方・考え方を働かせて主体的に問題解決できるよう工夫されている。 ・单元ごとに、学習問題や学びの視点が明確にされている。 ・基礎・基本となる語句を「ことば」というコーナーでおさえている。 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階を色分けして、各段階の活動を明確にしている。 <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程がわかりやすく示されており、問題解決的な学習を促す工夫がされている。 ・全学年を通して、社会的事象の見方・考え方を意図的に促す問いや

投げかけが設定されている。

小学社会 教出

〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉

・「この時間の問い」と「次につなげよう」が示され、単元を通して学習の見通しが持てるように配慮されている。「まとめる」や巻末の「年生の学習をふり返ろう」などでは知識の定着を図る工夫が見られる。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

・複数の立場の人々のインタビューが掲載されており、多角的に考えることができるよう工夫されている。また、「まとめる」で学んだことを順位付けするなど選択・判断したことを表現する場面が設定されている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

・巻頭で前の学年を振り返り、巻末で本学年を振り返るページを掲載し、主体的に問題解決できるよう工夫されている。

〈学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉

・巻頭に「社会科の学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という問題解決的な学習のわかりやすい見取り図が示されている。

〈資料〉

・事例地に偏りがないう、学校や地域の実態等に対応する配慮がされている。

・資料の年次や出典が明らかにされ、見開きごとに記号が付けられている。

〈表記・表現〉

・キャラクターの台詞をとおして、学習の視点が示されている。

・「この時間の問い」や「次につなげよう」が設定されていることで、前時の学習と次時の学習のつながりがわかりやすくなっている。

・基礎・基本となる語句を「キーワード」というコーナーでおさえている。

・「学びのてびき」で、学習を進めるときのポイントについて掲載し、学習をスムーズに進めることができるよう工夫している。

〈総括〉

・児童の思考の流れに沿って、児童自ら主体的に学習できるような工夫が見られる。

・「学びのてびき」「キーワード」などが多く設定され、理解や思考を深める工夫となっている。

小学社会 日文

〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉

・「キーワード」で大切な用語を取り上げ適時説明を行い、学習内容の定着を図っている。「わたしたちの学びをいかそう」では、学んだことを自分たちの社会生活に生かすための例示がある。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

・児童の話し合いの場面で発言例を示したり、様々な立場の人のインタビューを掲載したりして、児童が多角的に考えられるようにしている。「さらに考えたい問題」で、社会への関わり方を選択・判断する場面を位置づけている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

・巻頭の「社会科の学習でたいせつなこと」で学習内容のポイントが書かれており、学習の見通しをもち、主体的に問題解決できるよう工夫している。

〈学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉

・「わたしたちの問題」「学習問題」「さらに考えたい問題」と問題解決的な学習を進める上で、学習の問題の質的な広がりや深まりがわかるようになっている。

〈資料〉

・事例地に偏りがなく、学校や地域の実態等に対応する配慮がされている。

・資料の年次や出典が明らかにされ、見開きごとに番号が付けられている。

〈表記・表現〉

・キャラクターの台詞をとおして、学習へのアドバイスがなされている。

・中心資料を紙面の上部に示すことで、児童の問題意識を高めるとともに、学習がスムーズに進められるよう工夫している。

・基礎・基本となる語句を「キーワード」というコーナーでおさえている。

・「学び方・調べ方コーナー」で基礎・基本となる学び方や調べ方をおさえている。

〈総括〉

・随所に児童の発言の例示があり、学習や思考の流れをサポートする工夫となっている。

・「さらに考えたい問題」が設定されていることで、学びに連続性が生まれ、問題解決的な学習が促されるよう工夫されている。

新しい地図帳 東書

〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉

・地図帳の使い方が一覧で明確に示され、地図記号や索引、方位、距離などが理解しやすくなっている。頁毎にも距離や方位などが示され、正確に地図を読み取ることができる。索引にチェック欄があり、調べた言葉を確認でき、学習意欲が高まるよう工夫されている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

・鳥瞰図から地図への移行が丁寧に扱われており、児童が位置や空間的な広がりに着目して学校の周りの様子を捉えることができるように工夫されている。日本の貿易の様子を見開き 2 ページで掲載し、児童が日本の貿易相手国の位置を捉えやすくなるよう工夫している。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

・自然災害や防災についての資料を提示し、地域や国土の自然災害の学習において問題解決のための教材として効果的に活用できるようになっている。

〈地図・資料の特徴〉

・様々な縮尺の地図が収録されている。また、都道府県の特徴がわかるように農産物や名産品等、観光地のイラストを入れている。

〈資料〉

・地図帳の使い方、読み取り方、活用の仕方についての資料を載せ、主体的な学習ができるよう工夫している。

・学習テーマに沿った地図が複数収録されている。

- ・歴史の年表を記載し、歴史学習でも活用できるよう工夫されている。
- <表記・表現>
- ・キャラクターの台詞をとおして、資料を読み取る視点を示している。
 - ・産業や貿易だけでなく、歴史や国際理解に関わる内容が掲載されており、地図をとおして、過去や現在の世界の様子等を捉えることができるよう工夫されている。
- <総括>
- ・「都道府県の区分」や「地図帳の使い方」が設定され、児童の発達段階に応じた指導が促される工夫がある。
 - ・資料ページでは、自然や貿易、歴史などテーマに沿ったコーナーがあり、内容がとても充実している。

- 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 帝国
- <知識及び技能が習得できるようにするための工夫>
- ・地図帳の基本的な読み方（土地利用、地図記号、縮尺、索引など）が、わかりやすく説明されている。「トライ」や「地図マスターへの道」では、色々な見方で地図を楽しみながら学習できる。表やグラフ統計などを見やすくする工夫が随所に見られる。
- <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>
- ・「地図って何だろう」で地図学習の導入を行い、児童が位置や空間的な広がりに着目して学校の周りの様子を捉えることができる工夫がされている。
- <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>
- ・二次元コードが設けられ、問題解決のための教材として技能や意欲を育てる工夫をしている。
- <地図・資料の特徴>
- ・学習内容に合わせて様々な縮尺の地図が収録されている。また、「広く見わたす地図」では、都道府県の特色や位置関係、名産品や観光地のイラスト、交通網を目立たせるなどの工夫がある。
- <資料>
- ・地図帳の使い方、読み取り方、活用の仕方についての資料を載せ、主体的な学習ができるよう工夫している。
 - ・索引は、地名の前に市町村ごとの記号を示して、わかりやすくしている。
 - ・統計資料等は最新のデータが載っている。
- <表記・表現>
- ・キャラクターの台詞をとおして、資料を読み取る視点を示している。
 - ・児童にとって見やすさが工夫され、「地図マスターへの道」のコーナーなどで地図帳の積極的な活用が促されている。
 - ・関連のある資料を並べて割り付け、児童が関連づけて考えられるよう工夫している。
- <総括>
- ・「世界発見！」や「地図マスターへの道」が設定され、児童が楽しく主体的に地図を使用できる工夫がされている。
 - ・資料ページでは、自然や貿易、歴史などテーマに沿ったコーナーがあり、内容がとても充実している

渡邊会長

社会について質問等はあるか。

福田委員	各発行者ともキャラクターが登場している。社会科では、問題解決的学習が大切だと言われている。キャラクターと問題解決の関連は話題にあがったか。
齋藤指導主事	東書のキャラクターは子供たちに人気のあるものが使用されている。そのキャラクターが、道具等を使いながら考え方が示され、わかりやすいという意見があった。他の発行者についてもキャラクター等の台詞があることで、子供たちが考えやすくなる工夫がされている。
秋本委員	埼玉県教育委員会調査資料には、加須市の自然災害についてふれているが、そのことについて意見等はあったか。
齋藤指導主事	意見等はなかったが、加須市が使われていることの確認はあった。
秋本委員	子供にとって身近な事象を扱うことも大切であるとする。
小林委員	東書は5年生と6年生で分冊となっている。この点について意見はあったか。
齋藤指導主事	子供たちが学校に持って行く荷物が重くなっているということへの配慮されているのではないかという話がでていた。
渡邊会長	その効果についてはどうか。
齋藤指導主事	効果ではないが、分けることで子供たちへの負担は少なくなるという意見はあった。
高瀬委員	東書の資料で、「全体にわたり児童の興味・関心が高められるような資料が使われている」とあったが、具体的にどのような資料か。
齋藤指導主事	加須市のことを扱っており、身近な地域ということで興味・関心が高められるという意見があった。
柿沼委員	社会の教科書にはお金の話があまり取り上げられていなかったが、国際社会と競争力をつけるためには、お金の話や起業等の素地をつかっていくような教材があるとよいと思う。
齋藤指導主事	今回の調査研究では、特に話はでなかった。中学校の公民で扱っている。
渡邊会長	東書の思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫として「比較する資料を同じサイズで並べて掲載してあり、比較がしやすくなっている」とあったが、他の発行者ではどうか。
齋藤指導主事	他の発行者でも工夫されている。
渡邊会長	他にあるか。
各委員	(なし)

渡邊会長	次に地図について質問等はあるか。
小林委員	2社を比べると、羽生市と加須市の位置関係が異なる気がした。
福田委員	3年生から4年間使うもので、学年が上がるごとに地図本来の使い方が重視されている。どちらの方が見やすいという意見はあったか。
齋藤指導主事	どちらが見やすいという話はなかった。来年度から3年生から使うということで、地図帳の使い方についての説明が最初の部分で行われているという意見はあった。
渡邊会長	帝国の資料には、「統計資料等は最新のデータが載っている」とあるが、東書よりデータが新しいといことか。
齋藤指導主事	この報告は、2社を比較してということではない。
渡邊会長	思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫をみると帝国は「空間的な広がり」東書は「鳥瞰図から地図への移行」という言葉で表現されている。ドローンの出現によって数年前と変わってきており、重要な表現であったと思う。
渡邊会長	他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	次に算数をお願いします。
柿沼指導主事	<p>新しい算数 東書</p> <p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の内容が身近なものなので、考えやすく、これからの生活にも生かせることができ、学習をする意味が感じられる。ヒントがキャラクターによってつぶやかれている場面が多く、自力解決ができるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決において、「考えるときの手がかり」や「大切な見方考え方」が示され、解決の手助けとなっている。テープ図、数直線図等の図を用いることができるように、系統的に構成している。 <p><学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いかしてみよう」「おもしろもんだいにチャレンジ」では、日常の事象を数理的に捉えられるようにしている。巻頭の「学びのとびら」「今日の深い学び」では、学習の流れがわかりやすく示してあり、学習内容を生活や学習に活用しようとする態度が育つように工夫されている。 <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入で、日常生活と学習とのつながりを意識させ、既習事項で問題解決学習ができるように工夫している。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのキャラクターのつぶやきで説明しているので、親しみやすい。 ・全学年巻末に資料ページが設けられており、数学的活動に取り組みやすい。 ・図や表が見やすく色づけされている。

<表記・表現>

- ・文字が太くて読みやすく、図や絵、写真が豊富である。
- ・課題などが緑色に色分けされていてわかりやすい。
- ・学習のめあてと学習のまとめが毎時間しっかり書かれている。

<総括>

- ・算数の教科書であるが硬い感じがせず、児童にとって親しみやすい。数学的な活動も具体的な過程から示されているので、考えることが苦手な児童にも受け入れられやすい。
- ・1年生の「さんすうのとびら」が別冊なのは入学当初の1年生にはよい。

たのしい算数 大日本

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

- ・児童の興味・関心を喚起させる必要感をもたせた課題を設定し、数学的活動で考える楽しさやできた喜びを感じることができるよう配慮されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- ・解決方法が言葉で説明されたり、図や式等と結びつけて考えたりする活動が取り入れられている。「ひらめきアイテム集」によって、数学的な見方・考え方をまとめることができ、新しい学習に役立つ。

<学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫>

- ・巻頭の「算数まなびナビ」では、算数の学習の進め方が明示され、学習を発展的に広げ、生活や他教科に生かす態度が育つように工夫されている。「おうちで算数」「なるほど算数教室」「算数たまてばこ」では、学習した内容を具体的な生活場面で確かめたり、発展的な学習に活用したりできる。

<数学的活動を充実させるための工夫>

- ・日常生活の中から課題を見つけ、具体的な操作や体験活動と結びつけながら活動できるようにしている。

<資料>

- ・コンパスの使い方など、一連の流れを写真で丁寧に示されている。
- ・単元によって、学習の流れが教科書のわきに書かれていて分かりやすい。
- ・全学年の巻末に資料ページが設けられ、活動に取り組みやすい。

<表記・表現>

- ・1年間を振り返りやすくするために、1年間を1冊でまとめている。
- ・細々と文が書いていないので、余白が多く読みやすい。
- ・大切な言葉はフォントを大きくして、見やすくしている。

<総括>

- ・話し合いに重点を置いた編集であり、学び方が身につくように具体的に示されている。
- ・全学年が1冊でまとめているので、厚く、重い。

みんなと学ぶ 小学校 算数 学図

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

- ・基礎・基本の扱いを重視し、児童の思考の流れに沿った紙面になっている。既習事項を基に解決の方法を考えたり、答えの見積もりをしたりすることができるよう、吹き出しが活用できる構成になっている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・「3つの学びの力を育てよう」として、「①考える力」「②判断する力」「③表す力」を冒頭にまとめている。考える、説明する、比べるなどの活動が取り入れられている。4マス関係表を使って考えさせている。

<学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫>

・巻頭の「3つの学びで学習を進めよう」では、算数の学び方が明示され、児童が日常の事象から問題を見だし、協働的に解決することができるように工夫されている。単元の終わりの「深めたいな」「深めよう」では、学習した内容を活用して、日常の課題を解決できるようになっている。

<数学的活動を充実させるための工夫>

・数学的活動の考え方をモンスターとして取り入れ、子どもたちに親しみやすくしている。

<資料>

・「考え方モンスター」など、児童が喜ぶキャラクターを使っている。
・図や絵が小さくて、見にくいものがある。
・全学年の巻末に資料ページが設けられ、活動に取り組みやすい。

<表記・表現>

・空白が多く、読みやすい。
・大切な言葉が太字になっている。
・大切なところは囲みである。

<総括>

・本がA B判で大きいので、ランドセルに入れにくい。
・キャラクターや絵に頼らず、必要最小限なものだけ載せているので目からの情報を整理しやすい。

小学算数 教出

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

・単元導入の「きっかけ」ページでは、身近な場面から問題を発見し、算数の問題としてモデル化し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるように工夫されている。ノートの書き方が具体的に載っている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・問題解決の過程を「はてな→なるほど→だったら」の吹き出しで示し、児童の「問い」を促すよう工夫されている。「学びのマップ」により前学年までの見方・考え方が示されており、問題解決の手助けとなっている。

<学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫>

・「学んだことを使おう」「広がる算数」「開け！算数ワールド」等では、学習したことを使って、日常場面の問題を解決したり、発展的に考えたりできるように工夫されている。「算数で使いたい考え方」では、前学年に学習した数学的な考え方がまとめてある。

<数学的活動を充実させるための工夫>

・日常生活から算数の課題を見だし、授業の流れを意識して取り組めるようになっている。

<資料>

・写真や絵が大きく見やすい。
・全学年の巻末に資料ページが設けられ、活動に取り組みやすい。
・図や絵が見やすく色づけされている。

<表記・表現>

- ・文字が太くて読みやすい。
- ・色がはっきりしている。
- ・大切なところは囲んである。

<総括>

- ・「めあて」「まとめ」がはっきりしていないので、児童が個人で復習する時、わかりにくい。
- ・内容が少し高度である。

わくわく 算数 啓林館

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

・学年に応じて児童の思考と学習展開に隔たりが生じないように、スモールステップで展開されている。巻末には2段階のレベルの「もっと練習」が設けられ、習熟度別学習に対応できるようにしている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・演算決定のための数直線や関係を表す関係図を、系統的に学ぶことができるように工夫されている。考え方とその解決に至る過程を説明する活動や判断のよりどころについて話し合う活動などを取り入れている。

<学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫>

・「学びをつなげよう」では、毎日の学習のつながり、身のまわりのことがらとのつながりが意識できるようになっている。「学びをいかそう」「算数ラボ」「算数の自由研究」「わくわく算数ひろば」等では、日常生活に算数の知識・技能や考え方を活用できるように工夫されている。

<数学的活動を充実させるための工夫>

・生活場面で出てきた疑問を問題とし、めあてにつながる学習活動になるようにしている。

<資料>

- ・キャラクターが考えのヒントやまとめを示している。
- ・キャラクターの絵が親しみやすい。
- ・全学年の巻末に資料ページが設けられ、活動に取り組みやすい。

<表記・表現>

- ・文字が太くて読みやすい。
- ・小単元の題名が児童に分かりやすく表示している。
- ・大切な言葉が太字で表記されたり、大切なところは囲んである。

<総括>

- ・学びと生活がつながっているので、児童にとって親しみやすい。また、図などを使って自分の考えを表現する方法などを示し、自力解決のヒントになっている。
- ・5年生の教科書が1冊で厚い。

小学算数 日文

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

・巻末に確認問題や発展問題があり、個別に学習が進められるようになっている。算数の学習の仕方が巻頭や巻末の学び方ガイドに具体的に載っているので、何度も振り返りができるよう工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・多様な解決の検討や数学的な表現の相互関連を意図した構成になっている。話し合ったり・説明したりする際にポイントとなるところを

	<p>「かぎマーク」で表し、解決の手がかりとしている。</p> <p><学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「算数で使いたいことば・考え方」がまとめてあり、わかりやすく発表する手助けになっている。巻末の問題が、もっと練習、広げる・深める、より進んだ、の習熟度別になっている、自分の興味をもった問題に取り組むことができるようになっている。 <p><数学的活動を充実させるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活と算数とのつながりを意識させ、進んで取り組めるようにしている。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・色やキャラクターが優しい感じで親しみやすい。 ・図が比較的大きい。 ・全学年の巻末に資料ページが設けられ、活動に取り組みやすい。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文が大きめな文字で書かれていて分かりやすい。 ・大切な言葉が太字になっている。 ・大切なところは囲みである。 <p><総括>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・45分授業の内容がページごとに完結していないので、使いにくい場合がある。 ・まとめが書かれているところが少なく、時々出てくる赤字のまとめは目の刺激が多い。
渡邊会長	質問等はあるか。
小林委員	よいところだけの報告は判断しにくい。この報告を鵜呑みにするわけではなく、私たちで再度研究をするが、すばらしい報告だと思う。
渡邊会長	書き方が異なるが、この委員会ではこの報告を尊重する。
秋本委員	県の東書の調査資料を見ると、総括では、「幼小の接続を意識したA4判中綴じの紙面や、小中の接続を意識した振り返りが設けられており、数学的な見方・考え方を発展させる力の育成が意識されている」とあり、第20採択地区の調査資料の総括は、それを具体的にこのような表現になっているということによいか。
柿沼指導主事	幼小の接続、小中の接続については、各発行において工夫があった。中でも調査員の目に止まったところが記入されている。
福田委員	日文の総括には、「45分授業の内容がページごとに完結していない」とあるが、授業の計画は各学校で行うということによいか。
柿沼指導主事	見開きで授業を完結できるものが多いが、日文のものは、内容が詰まっているという意見があった。
渡邊会長	基本的には、日文も1時間のページになっているので、支障はない。
渡邊会長	テープ図、数直線、線分図の扱いが異なっていた。テープ図、数直線についてはすべての発行者で使われている。線分図は啓林館のみ使っているが、この扱いについてどのような話があったか。

柿沼指導主事	調査研究では、そこまで深い話し合いは行われなかった。
	経験上、線分図が理解できる子供たちはどんどん伸びる。ところが、これを理解できないと算数嫌いが発生する。学習指導要領の解説にも明確に書いていないので、現場の声や調査員の意見が気になった。
渡邊会長	他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	次に理科をお願いします。
清水指導主事	<p>新しい理科 東書</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの後に「学びを生かして深めよう」が設けられ、学んだことを生かして自分の考えをもてるようにするとともに、単元末の「たしかめよう」では、得た知識の復習ができる工夫がある。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考察しよう（考えよう）」では、実験結果からどのようなことがいえるのかを考え、対話し、思考力や表現力を育成する場面の設定がみられる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初の「レッツ スタート」では、活動したり、写真や絵を見たりして、疑問を見つけ、主体的に問題がつかめるようにしている。 <p><見通しをもって観察、実験を行うための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクター同士の対話形式で進み、予想や計画をするときの手引きになっている。また、実験のポイントも具体的に示されており、学習を進めるヒントになっている。 <p><自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想、方法の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられるように、対話例を示しながら科学的に解決するためのヒントや補助をしている。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「理科の調べ方を身に着けよう」として、確実に技能が身に着けられるように実験・観察の手順が示されている。 ・インターネットのマークがあるところでは、QRコードを使ってデジタル情報が得られるようになっている。 ・実物大胎児イラスト、星座盤、飛び出す人体模型がついている。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を意識したイラストや写真がある。 ・問題とまとめを大きな字で表記されている。 ・重要な用語は太字に下線が引かれている。 ・実験の順序を矢印で分かりやすく表記している。 <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察を行う際の安全に配慮し、「危険」や「注意」のマークが配置されている。大きさがA4判になっている。 <p>たのしい理科 大日本</p>

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・「考察、考えよう」で話し合った結果を「結論、わかったこと」として、まとめることで知識が習得できるようにしている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・「考察、考えよう」では、実験結果からわかることを話し合い、思考力を育成する場面の設定がみられる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・単元の最初に2ページ分の問題を見つけるための写真や実験、観察を見ながら、気づいたことについて話し合うことによって、問題が見つけられるようにしている。

<見通しをもって観察、実験を行うための工夫>

・導入では、既習内容を示すことで、今までの学習と関連づけて疑問が持てるようにしている。<自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫>

・予想や計画の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられるように、対話例を示しながら科学的に解決するような工夫がされている。

<資料>

・巻末の「使い方をおぼえよう」で、確実な技能の習得を図っている。
・巻末に、学習内容を振り返ることのできる資料や、学びを生かす「チャレンジ問題」があり、知識の定着と活用の両方が出来るような工夫がある。

・「たのしい理科ウェブ」として、QRコードによる参考資料がある。

<表記・表現>

・問題文を緑、わかったこと（結論）を青で統一して見やすく表記している。

・実験の注意する箇所が目立つように枠取りをして表記させている。

・予想や結果のマークが見やすく表記されている。

<総括>

・「理科の学び方」で、学びの方向付けをしている。

・観察・実験の手順を、番号や矢印で示している。

みんなと学ぶ 小学校理科 学図

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・「考察、結果から考える」をもとに「わかったこと」がまとめてあり、ノートの記入例を示し、知識の定着を図っている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・考察場面では、考察する視点が具体的に示され、思考力を育成する場面の設定がみられる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・単元の最初に2ページにわたる大きく、身近な写真を使い、これから学習する内容についての問いかけしながら、学習の流れを説明している。

<見通しをもって観察、実験を行うための工夫>

・巻頭にある「理科の芽を育てよう」では、学習の流れを明確にし、今までに学習した内容を振り返りながら、さらなる問題へ繋がるような工夫がされている。

<自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫>

・予想や計画の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられる

ように、対話例を示しながら科学的に解決するような工夫がされている。

<資料>

- ・巻末に器具の使い方の手順に沿っての説明があり、チェックを入れながら進められる工夫がある。
- ・巻末に「・年生で学んだこと」として、学習内容がまとめて提示され、復習できるようになっている。
- ・学習の流れの中に QR コードによる参考資料がある。
- ・学習の流れの中で、「大事な言葉」を四角で囲んで表記している。

<表記・表現>

- ・問題文を青の帯で、目立つように表記されている。
- ・実験の注意する箇所が目立つように表記させている。
- ・ページの下に学習の進め方がひと目で分かる表記がされている。

<総括>

- ・重要な語句は、太字で示されている。
- ・実験や観察の際の安全への配慮として、「注意」マークが使われている。

未来をひらく 小学理科 教出

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

- ・「結果から考えよう」で考えたことをもとに「結論」をまとめ、知識の定着を図っている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- ・予想を確かめる実験計画を考える具体例が提示されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

- ・単元の最初の「見つけよう」では、写真や活動をとおして、主体的に問題が見い出せるようになっている。

<見通しをもって観察、実験を行うための工夫>

- ・各単元の導入では、今までの学習や経験を活かして問題を見つけだせるような工夫がされている。

<自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫>

- ・予想や計画の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられるように、対話をしながら科学的に解決するような工夫がされている。

<資料>

- ・「・年で学んだこと」として、次学年につながるような学習の振り返りが出来る資料が巻末についている。
- ・「学びリンク」として、QR コードによる参考資料がある。
- ・ほぼ実際の大きさで、人の体の中の様子が絵で表現されている。

<表記・表現>

- ・問題と結論が「はてな？」と「わかった！」で統一して表記されている。
- ・大事な言葉は、太字と色で強調されている。
- ・「観察・実験」「結果」「結論」は色で強調されている。

<総括>

- ・話合いの仕方や話合いの場面を具体的に示し、分かりやすくなっている。

	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「結果から考えよう」で考えたことをもとに「まとめ」を行い知識の定着を図っている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「結果から考えよう」では、結果を基にした考察が示され、児童の思考の助けとなるような工夫がみられる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」では、身の回りのことやこれまで学習したことの中から不思議を見つけるから「問題をつかもう」へと見つけた不思議について話し合う活動を設定している。 <p><見通しをもって観察、実験を行うための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「自然の不思議をとき明かそう」で、学習の流れを示し、既習の内容や今までの経験が次の問題に繋がるような構成になっている。 <p><自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想、計画の場面では、児童の既習の知識を思い出して考えられるように、対話例から科学的に解決へと導いている。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験器具の使い方が、単元内や巻末に掲載され、すぐに確認できるよう配慮されている。 ・各学年で、植物探検カード・くもの観察カード・月の満ち欠けモデル・プログラミング用シートとシールなどの資料が豊富にある。 ・「調べる」「表す」など学習に必要な資料が巻末にあり、参考にできる。 ・QRコードがあるところでは、参考資料がみられる。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題とまとめがマークで分かりやすく表記されている。 ・全体の学習の流れが分かりやすく矢印で示されている。 ・多くのマークにより、安全に実験できるようになっている。 <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全面に配慮し、様々な危険がマーク化されており分かりやすい。 ・巻末にある、付録が各単元の学習内容に即しており充実している。
渡邊会長	質問等はあるか。
渡邊会長	小学校で理科の授業をやるときにはには、理科を専門の先生は少ない。観察や実験の準備や実際に行うときに配慮をしなければいけないことはどのようにになっているか。
清水指導主事	小学生にもわかるように「危険」や「注意」という表記が全発行者でされている。
渡邊会長	この地域にも生息するハチなどの危険な動物などの表記が書かれているものがよいと思う。
小林委員	私も、ケムシや毒グモ等注意しなければならない動植物が書いてあることが基本であると思う。
渡邊会長	他にあるか。

各委員	(なし)
渡邊会長	次に生活をお願いします。
	<p>新しい生活 東書</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」は、学習活動や生活に即した習慣や技能を身に付けるのに役立つように示されている。活動の見通しが容易に立てられるように、児童の参考作品が具体的に示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや願いを実現していく学習過程で、児童が思考・判断・表現している姿が、写真、挿絵、吹き出し、作品例等で示されている。気付いたことを考え、表現することができる多様な表現活動や交流活動が豊富に示されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びのプロセスがイラストでのせてあったり、単元末などに「できるようになったことをふりかえろう」という自分自身を振り返るページが設けてあったりと、生活を豊かにしようとする態度を養う工夫がされている。 <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つける、くらべる、たとえる、さわる、きく、においなど、体全体を使って、対象と直接関わる活動が示されている。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・切り離しても使える「ポケットずかん」では、実物大の動植物のイラストが掲載されている。 ・生活科で学習する習慣や技能をまとめた「かつどうべんりてちょう」が巻末についており、活動に応じて活用できるように工夫されている。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元名や各コーナーが定位置にあり、学習の流れが見やすいように工夫されている。 ・様々な場面で思考を促すヒントや安全上の留意点が投げかけられている。 <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科で育成すべき「資質・能力」の3つの柱が、大きな画像、挿絵や吹き出し、表現作品などで具体化され、豊富かつ適切に示されている。 ・上巻冒頭ではスタートカリキュラムにより入学当初の学習が円滑に行えるように、また、下巻最終単元では3年生への学習に続く工夫がされている。 <p>たのしい せいかつ 大日本</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がくしゅうどうぐばこ」は、技能が高められるような内容が示されている。「せいかつことば」は、児童の思いや考えにつながる言葉が紹介され、知識が広げられるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験したことで生まれた思考や気付きを多様な方法で表現できるように、活動の方法や作品例が示されている。同じ場面を白黒からカラ

一に変化させる写真から、児童間の気付きや発見の交流ができるように工夫されている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

・子供たちがゴールに向かって自信をもって取り組むことができるように、すべてのページに風船マークでめあてが書かれている。巻末の「がくしゅうどうぐばこ」は、積極的に学ぶ手がかりとなっている。

〈具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫〉

・音を聞くための道具や写真、物を見るための道具を示し、具体的な活動へ促すように工夫されている。

〈資料〉

・付録（上巻「たんけんカメラ」、下巻「透明シート」）がついており、児童の興味・関心を高める工夫がされている。

・単元導入の見開きのページに、児童の活動する大きな写真や白黒の自然の写真などが使われており、具体的な活動へと導く工夫がされている。

〈表記・表現〉

・風船マークの中で、具体的なめあてが分かるように工夫されている。
・「せいかつことば」のコーナーでは、観察カードや振り返りカードなどで表現するときに使う言葉が示されている。

〈総括〉

・各活動単位で学習カードや作品など児童の表現物が多数例示され、学習意欲が高まるように工夫されている。

・他教科との関連が矢印によって明記されていて、横のつながりを意識した指導が可能となるように工夫されている。

みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 学図

〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉

・「生活科学び方図かん」では、具体的な活動や体験の方法が示され、知識・技能が身に付くように工夫されている。「ものしりノート」では、児童の主体的な活動を支援できるように示されている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

・児童がイメージしやすくなるような活動の作品例が、数多く掲載されている。他者と伝え合い交流する活動の場面を示すことにより、自分の考えを広げたり深めたりすることができるように工夫されている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

・児童の記録の手がかりとなる発達の段階を考慮した「ものしりノート」が見開き1ページで掲載されている。巻末には様々な人と交流する場面が設けられており、自分の成長を自覚することができる工夫がされている。

〈具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫〉

・動植物などの素材との対話の場面を設け、素材とのかかわりの中で多様な気付きを引き出す工夫がされている。

〈資料〉

・「生活科学び方図かん」では、学習のスキルや安全対策などを確認することができ、できた所にはチェックも入れられるような工夫がされている。

・「ものしりノート」が様々な単元に掲載されており、発達の段階に応じて、具体的な児童の作品やカードの例が紹介されている。

〈表記・表現〉

- ・児童の作品やまとめなどには、教師の朱書きの例が示されている。
- ・単元が大きく四つの段階に分けて示されており、活動の展開に見通しがもてるように工夫されている。

〈総括〉

- ・動植物等の素材との対話の場面を設定し、素材との関わりの中で多様な気づきを引き出すように工夫されている。
- ・子供の発達の段階に応じた記録の例が示され、学びと言語活動が一体化されるように工夫されている。

せいかつ 教出

〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉

- ・児童が自分の課題を明確にもつことができるように、ねらいが具体的な言葉で示されている。「学びのポケット」を繰り返し利用することで、生活上必要な技能が身に付くように工夫されている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

- ・具体的な活動や体験を通して学んだことを整理したり、言葉で伝え合ったりする多様な表現方法が示されている。「ヒント」により、活動への思考や表現がスムーズに取り組めるように工夫されている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

- ・児童が学習や生活に自信や意欲をもって取り組めるように、教科書全体を貫いて「まんぞくハシゴ」がかけられており、単元ごとに自己評価ができるように工夫されている。

〈具体的な活動や体験を通して気づきの質を高めるための工夫〉

- ・様々な観点から考えさせることができるように、見つける、比べる、たとえるなどの多様なとらえ方が示されている。

〈資料〉

- ・児童が教科書の中に入り込んで学習するために、「わたし」を投影するためのキャラクター「いぐら」が採用されている。
- ・他教科の知識や技能と関連付けた「学びのポケット」が上下巻末に設けられており、様々な場面で活用するスキルの例が紹介されている。

〈表記・表現〉

- ・「ヒント」から、聞く・比べる・かぐ・見方を変えるなどの思考につなげる工夫がされている。
- ・活動を見通したり、振り返ったりするための書き込み欄が設けられている。

〈総括〉

- ・小単元名に、生活科で学ぶ力（きづく、じぶんでできる、かんがえる、つたえる、ちょうせんする、じしんをもつ）がサイコロの表示で示されている。

- ・上下巻を通して2人の登場人物のカード例や作文例、会話などを示し、自分の考えと比較したり、結びつけたりして思考できるように工夫されている。

せいかつ 光村

〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉

- ・「どうすれば～いいかな」のコーナーでは、学びの中で自ら見つけた、作ったり、気付いたりするためのヒントを示し、児童が具体的なイメージがもてるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・「ひろがるせいかつじてん」では、活動に即した多様な表現方法が示されている。自分で考えて試行錯誤しながら活動する活動のイメージや楽しさを伝えるために、写真や吹き出し等で表現している。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・各単元末にシールを使って自己評価するページが設けられており、付録のシールに自分の思いを書き込んだり、自分自身を振り返ったりすることができ、次の活動への意欲付けにもつながる工夫がされている。

<具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫>

・「ジャンプ」の欄では、気付きを自覚したり、関連付けたり、視点を変えてとらえたりするなどの学びの具体例が示されている。

<資料>

・「ひろがるせいかつじてん」では、防災・安全や生活上必要な習慣、体験活動や表現活動の例が収録されている。

・「きせつのおくりもの」では、四季の風景や、動植物の様子などが絵や写真で紹介されている。

<表記・表現>

・ホップ（導入）、ステップ（展開）、ジャンプ（振り返り）の流れで知識、技能が習得できるように示されている。

・「どうすれば～かな」のコーナーで、自ら考える工夫がされている。

<総括>

・児童の関心をさらに広げたり、習慣や技能を定着させたりできるようにするための豊富な資料が示されている。

・上巻冒頭にスタートカリキュラムページが示されたり、下巻には生活科の学びが中学年以降の学びに接続する活動が示されたりしている。

せいかつ 啓林館

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・児童が見通しをもって活動に取り組み、主体的な学びにつながるような「めくり言葉」が示されている。「がくしゅうずかん」には、活動がさらに楽しくなるヒントが示されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・「くらべる・ためす・くふうする」の活動で生まれた気付きや思いが、児童間の学びや交流の例示で段階的に示され、考えを深めたり広げたりできるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・「できるかな、できたかな」では気付いたことや分かったことを主体的に確かめることができるように、活動を振り返る視点の例が示されている。単元末の「ぐんぐん」では、自らの成長を実感できるような工夫がされている。

<具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫>

・「わくわくボックス」では、なぜなのか、不思議だななどの思いから、やってみたいという児童の思いを高める活動が示されている。

<資料>

・「がくしゅうずかん」が設けられており、学習スキルや安全、道具の使い方などが紹介されている。

・幼児教育や中学年以降とのつながりに配慮し、上巻巻頭に「すたあとぶっく」、下巻巻末に「3年生へのステップブック」が設けられてい

る。

〈表記・表現〉

- ・「めぐり言葉」により、活動の中から生まれた気付きや次の活動への思いや願いが示されている。
- ・ヒントや着眼点が児童のつぶやきとして示されている。

〈総括〉

- ・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階構成で、活動の流れが分かりやすく示されている。
- ・上巻巻頭の「すたあとぶっく」や下巻巻末の「3年生へのステップブック」により、学びのつながりと広がり分かりやすく工夫されている。

わたしとせいかつ 日文

〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉

- ・問題解決の場面を多く取り入れ、毎時間記号を使った学習の目あてが示されている。「ちえとわざのたからばこ」では、学習する基本的な知識や技能、学び方が示されている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

- ・活動のイメージや児童間の交流がしやすいように、活動の写真や作品例が数多く示されている。伝え合いの活動例として、新聞・ポスター・写真・劇等、多様で豊かな表現方法が示されている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

- ・どの時間に「学びに向かう力、人間性」を育んでいけばよいのかが、3つの柱に対応しためあてで分かりやすく提示されている。活動への興味・関心を高めることができるように、活動の実践例が工夫されている。

〈具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫〉

- ・児童が思いを込めて活動する姿、比べ・試す手ごたえのよさに気付きを深める姿が絵や写真で示されている。

〈資料〉

- ・生活や学習で参考となるスキルや安全、生活習慣などについて紹介されている「ちえとわざのたからばこ」が上下巻末に収録されている。
- ・各単元に「ポケット図かん」のページがあり、児童が主体的に活動できるように工夫されている。

〈表記・表現〉

- ・アレルギーの対応として、マークで示されている。
- ・単元が分かりやすいように、シンボルマークと色で見やすく表されている。また、下巻の裏表紙には点字が掲載されている。

〈総括〉

- ・実際に行われた授業の様子が画像で紹介されていることにより、対話に満ちた活動をイメージすることができるように工夫されている。
- ・小單元ごとに主に大切と考えられるめあてが、3つの柱に対応して示してあり、これらのめあてが評価にもつながるように工夫されている。

渡邊会長

質問等はあるか。

福田委員

生活科は地域によって取り扱う内容が違う。例えば、加須市内でも農村部と住宅地、極端に言えば隣の学校でも違う。調査報告にあるよ

	うに子供たちが具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫が大事だと思う。
渡邊会長	生活科の教科書は教材を教えるのではなく、その地域の自然や生き方を教えていくものであり、教科のねらいが国語や算数と異なっている。そのため教科書を見る観点は活動が中心であるべきだと考える。
渡邊会長	他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	次に音楽をお願いする。
清水指導主事	<p>小学音楽 音楽のおくりもの 教出</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階を考慮して題材や教材を配列し、弾力的な活用ができ、また継続的・発展的に学習できるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の思考の流れに沿うような活動手順が示されており、作品例やワークシート例、活動のポイントの吹き出しなど、児童が思いや意図をもって表現したり、音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするための情報が示されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組むために、見開きごとに学習のねらいと学び方を示唆する「まなびナビ」、学び合うためのヒントを示した「学び合う音楽」が設定されている。 <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りで見つけた音を音遊びや即興的に表現する音楽づくりの学習につなげられるよう「音のスケッチ」として各学年の発達の段階に配慮した学習内容を設定している。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびリンク」が示され、学習に対応した動画等の資料が WEB 上に掲載されている。 ・教材に合わせた写真を使用し、視覚的に情景が想像しやすい工夫がされている。イラストも教材のポイントに沿っているため、学習活動を進める手立てとなるよう工夫されている。 ・透明シートや両開きの折り込みページを設定し、色鮮やかな写真やイラストなどから視覚的に活動のイメージをつかむことができるように工夫されている。 ・「Short Time Learning」では、教科横断的な教材が全学年に配置されている。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材が見開きになっており、教科書の大きさや楽譜などの表記も発達の段階に応じている。 ・学習指導要領外の内容は「はってん」とし、記号や用語は、巻末や別枠に示されている。 ・題材ごとに通し番号が振られ、題材のまとまりが示されている。 ・〔共通事項〕が教材ごとに「音楽のもと」と示され、3年～6年はメ

モ欄が付けられている。

<総括>

- ・紙面編集全体的に、特別支援教育の視点に立った配慮や色覚特性をもった児童への配慮がされている。著作者の創造性を尊重する視点から名前にふりがなを加えている。
- ・国歌「君が代」は、見開きで掲載されている。
- ・第1学年の導入では、幼児期に触れた教材をイラストで示したり、わらべうたを扱ったりするなど、スタートカリキュラムが意識されている。
- ・世代を超えて音楽文化を共有するために、全学年に「にっぽんのうた みんなのうた」のコーナーが設けられている。
- ・地域や学校、児童の実態に応じて選択的に用いる教材（オプション部分）や活動が設定されている。

小学生の音楽 教芸

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

- ・題材や教材が系統的・発展的に配列され、学びにつながる題材構成になっており、積み重ねや繰り返しの学習ができるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

- ・教材及び題材内で他の活動と関連させながら学習活動が進められるようになっており、作品例やワークシート例、グループ活動時の会話の吹き出しなど、児童が思いや意図をもって表現したり音楽や演奏のよさを味わいながら聴いたりするための情報が示されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

- ・一年間の学習の見通しをもつことができる「学びの地図」や一年間の学習を振り返ることができる「ふり返りのページ」、既習事項が確認できる「おもいだそう」が設けられている。

<生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫>

- ・生活の中の音、自然の音など身の回りで見つけた音を音楽づくりの学習と関連づける活動が設定され、各学年の発達段階を考慮した無理のないステップを踏めるように工夫されている。

<資料>

- ・紙面上の二次元コードから学習をサポートするコンテンツを ICT 機器で閲覧できる。
- ・情報量が精選されており、学習において必要なことに注目ができるよう、教材のポイントが色の濃淡やイラスト、写真により、視覚的にも理解しやすいように工夫されている。
- ・学習を進める際の手立てとなる楽器の演奏法がページ内に示され、繰り返して行う活動「そだてよう」や掲示物のアイデアも掲載されている。
- ・該当学年の鑑賞教材で主に学習する作曲家の説明が写真と共に記載されている。

<表記・表現>

- ・楽譜と縦書きの歌詞が見開きになっており、楽譜等の表記も発達の段階に応じている。
- ・学習指導要領外の内容は「ステップアップ」とし、記号や用語は、巻末や

	<p>別枠に示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに通し番号が振られ、ツメによって題材のまとまりが示されている。 ・〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素が教材ごとに示されている。 <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙面編集全体的に、特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童への配慮がされている。歌詞の内容や写真には、道徳教育や人権教育に対する配慮がされている。 ・国歌「君が代」は、見開きで掲載されている。 ・スタートカリキュラムへ配慮し、小学校に入学したばかりの1年生が幼稚園や保育園などでの経験を生かしながら安心して授業に取り組めるように教材の配列が工夫されている。 ・童謡や唱歌を世代を超えて大切に受け継いでいくために、全学年に「歌いつごう 日本の歌」のコーナーが設けられている。 ・郷土の音楽を学習する際に、口唱歌の体験や民謡の歌い方を実際にまねする体験的な活動が掲載されている。
渡邊会長	質問等はあるか。
渡邊会長	教出の総括にある「著作者の創造性を尊重する視点から名前にふりがなを加えている」とはどういうことか。
清水指導主事	低学年にもわかるようにふりがながついている。
渡邊会長	教芸の総括にある「歌詞の内容や写真には、道徳教育や人権教育に対する配慮がされている」とはどういうことか。
清水指導主事	写真で配慮されていると報告をうけている。
渡邊会長	他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	午前中はここまでとする。
渡邊会長	午前中に引き続き会議を進める。図画工作をお願いする。
清水指導主事	<p>図画工作 開隆堂</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに学習のめあてが示され、児童が何を学ばよいかの分かりやすく示されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な参考作品とともに、児童がどんなことを考えながら活動しているのかを吹き出しと写真で示すことで、自由な発想や構想を促す工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と教え合ったり作品を見合ったりする写真を取り上げて、学び合いや交流の活動を促す工夫をしている。

<表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫>

・作家作品を効果的に配置したり、各地の美術展や伝統工芸品などを紹介したりするなど、表現と鑑賞を幅広く捉える工夫がされている。

<用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫>

・題材のページから「造形の引き出し」へといざなうことによって、材料とのかかわり方や用具の使い方が効果的に身に付くよう工夫されている。

<資料>

・各題材に示されたQRコードにより、用具の扱いや表現の手順などについて分かりやすく説明している動画を活用する工夫がされている。

・多様な表現の参考作品を数多く掲載することにより、児童の豊かな発想を促す工夫がされている。

<表記・表現>

・巻頭の目次に一年間の活動を見開きで示すことにより、児童に学習の見通しをもたせる工夫をしている。

・各題材のページに、使用する主な材料や用具がイラストと文字で提示され、児童の準備や活動が円滑に進むよう工夫されている。

<総括>

・参考作品に大きな写真が使われ、視覚的に伝わりやすく、児童の興味・関心を引き出し、イメージしやすいよう工夫されている。

図画工作 日文

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・学習のめあてが黒板型の枠に示され、その時間に何を学ばよいかのかが分かりやすく示されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・どの題材も見開き2ページを使って数多くの参考作品を掲載し、発想や表現を助けるヒントを吹き出しやキャラクターのコメントの工夫で示している。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・友達と教え合ったり作品を見合ったりする様子を掲載して、学び合いや交流の活動を促す工夫がされている。

<表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実するための工夫>

・児童の興味・関心を引き出すような作家作品を掲載し、表現と鑑賞の一体化を図る工夫がされている。

<用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫>

・題材のページから「使ってみよう材料と用具」のページに進むことによって、材料とのかかわり方や用具の使い方が身に付くよう工夫されている。

<資料>

・巻末の資料で材料や道具の取り扱い方や技法などをイラストや写真を用いて詳細に解説している。

・創作の意図を示した吹き出しとともに多様な参考作品を掲載することにより、発想や表現の助けとなるよう工夫されている。

<表記・表現>

・各題材を通して、キャラクターの吹き出しが活動のヒントとなるような工夫がされている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の過程が見える写真を掲載することにより、児童にとって活動の道筋が分かりやすいよう工夫されている。 <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しによって、活動している児童の創作意図や気持ちを伝えながら、発想や表現を助ける工夫がされている。
渡邊会長	質問等はあるか。
渡邊会長	作品を制作するときのポイントとして、道具を安全に使うこと、多様な参考作品を掲載することがあげられる。今回の教科書をみると多様な表現の参考作品が掲載されており、発想や表現の助けとなるよう工夫されているようであるが、どのような話がでていたか。
清水指導主事	どちらの発行者も作品が多く掲載されており、児童の発想や表現を助ける工夫がされている。
渡邊会長	QRコードにより、動画を活用することができるかとあるが、具体的にどのように使うのか。
清水指導主事	今回いろいろな教科でQRコードが掲載されているが、タブレットやスマートフォン等でQRコードを読み取り、出てきた動画等をテレビやプロジェクターで拡大したものを提示することができる。
渡邊会長	パソコンの場合は、インターネットへの接続環境が整っていないと使用できないのか。
清水指導主事	インターネットに繋がないと使用できない。
渡邊会長	他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	次に家庭をお願いする。
柿沼指導主事	<p>新しい家庭 東書</p> <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「成長の記録」で自分の学習を振り返ることができるので、まだ知識や技能が十分に身に付いていない内容が確認できる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの題材でも「話し合おう」が設定されており、自分の考えをもつと同時に、友だちの考えを知ることができるようになっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日々の備え」「日本の伝統」「プロに聞く」など専門的な情報が充実しており、主体的に学習に取り組めるようになっている。 <p><実践的・体験的な活動の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践活動後にある「できたかな」の欄によって、身に付けさせる技能の基礎的・基本的な学習内容が振り返られるようになっている。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の場面では、実寸写真を提示することにより、野菜を切る際の厚さが具体的に分かるように工夫されている。

・比較できる資料や「プロに聞く」というコーナーがあり、発展的な内容の資料が豊富に提示されている。

〈表記・表現〉

・男女4人のキャラクターがおり、そのキャラクターの吹き出しの言葉が児童の考えるきっかけとなっている。

・「リンク」マークが表記されていることによって、習ったことを繰り返し実践できるような工夫がなされている。

・「日本の伝統」というマークがはっきり提示されており、見やすい。

〈総括〉

・手順や使い方を示す資料が豊富で分かりやすいため、児童が主体的に基礎的・基本的な知識と技能を身に付けることができるように工夫されている。

・言語活動を促す活動が学習過程に位置付けられていることにより、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるようになっている。

小学校 わたしたちの家庭科 開隆堂

〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉

・調理や製作の題材では手順が丁寧に説明されており、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるようになっている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

・「調べよう」や「考えよう」のコーナーがあり、実生活と結びつけながら、児童の思考力・判断力・表現力を育成できるようになっている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

・題材の最後に、「生活に生かそう」という問いかけがあり、学習を家庭生活に生かす機会を設定している。

〈実践的・体験的な活動の工夫〉

・「チャレンジコーナー」を設置し、家庭生活や地域で取り組める実践が紹介されており、学んだことを実践できる工夫をしている。

〈資料〉

・QRコードが表示されており、そのページの学習に必要な動画などの資料が、すぐに見られるようになっていて分かりやすい。

・「生活の中のプログラミング」という資料があり、家庭科におけるプログラミング教育を提示している。

〈表記・表現〉

・「安全」や「参考」「防災」「環境」などのコーナーが、わかりやすいデザインで提示されており、児童の注意を引く。

・作業や手順がフローチャートで分かりやすく記されており、思考が広がったり深まったりするように工夫されている。

・案内役の四つ葉のクローバーが各ページに登場し、その近くにえがかれたマークが「家庭科の見方・考え方」を提示している。

〈総括〉

・書面上の配置の仕方が思考の流れに沿って統一されており、わかりやすく、使いやすく工夫されている。

・3つのステップで構成された問題解決的な学習を積み重ねることで、知識と技能が確実に身に付くように工夫されている。

渡邊会長

質問等はあるか。

高瀬委員

QRコードが掲載されていたのは、開隆堂だけか。

柿沼指導主事	両方の発行者であった。
渡邊会長	開隆堂の表記・表現にある「防災」は、東書には表記されていないのか。
柿沼指導主事	両方の発行者で扱っている。
渡邊会長	開隆堂は、具体的に「防災」をどのように扱っているか。
柿沼指導主事	地域でどのように備えるかという扱いである。
渡邊会長	例えば、加須市、羽生市で関係してくる利根川の堤防の決壊とかではなさそうである。今、防災が叫ばれているので、どんな表記されているか気になった。 他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	次に保健をお願いします。
橋本指導主事	<p>新しい保健 東書</p> <p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードが太字になっていたり、言葉の解説が添えられていたり <p>と、必要な知識・技能が見やすくまとめられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「調べる・解決する」において、資料が多く示されていて、それを基に自分の考えを深める構成になっている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方が明確に例示されているので、学習の流れに沿って、主体的に話し合ったり調べたりする活動が設定されている。 <p><健康・安全についての理解を深めるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の使い方の説明があり、単元の内容項目に「ステップ3 深める伝える」を設定し、学習できるよう工夫されている。 <p><生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の項目として「まとめる・生かす」という項目を設定し、単元のまとめとしてテスト形式や学習のまとめとして活用できる内容を設定し学習できるよう工夫されている。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラスト形式の挿絵が多用されており、そのイラストが学習の流れを作っている。 ・写真と文字のバランスが良く、ワークシート形式で活用できるよう工夫されている。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れが分かるような表示があり、毎回同じ流れで学習できるよう工夫されている。 ・単元の項目や重要語句が太字となっていたり、枠で囲まれていたり <p>とポイントが押さえられるよう工夫されている。</p> <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科等とのつながりを示したり、関連するウェブサイトを紹介し

たりと、習得した知識・技能を実生活に生かせるように工夫されている。

- ・学習した内容について「まとめる・生かす」項目を設定し、単元のまとめとして、テスト形式や学習のまとめとして活用できるよう工夫されている。

- ・単元の項目や重要語句が太字となっていたり、枠で囲まれていたりポイントが押さえられるよう工夫されている。

たのしい保健 大日本

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

- ・習得すべき知識・技能について、イラストや写真を交えて解説されており、必要な知識・技能が見やすくまとめられている。

〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉

- ・「やってみよう」「話し合ってみよう」の欄をイラスト付きで設け、児童が主体的に課題解決へ向かう構成になっている。

〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉

- ・学習内容に入りやすくするために、話し合いや作業を多く取り入れ、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。

〈健康・安全についての理解を深めるための工夫〉

- ・教科書の使い方の説明があり、「活用して深めよう」のページを設定し学習できるよう工夫されている。

〈生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫〉

- ・「もっと知りたい」のコーナーにおいて、既習の内容を深化できるような内容を掲載し学習できるよう工夫されている。

〈資料〉

- ・単元のはじめに課題発見のための見開きのイラストが提示されており、児童一人一人が課題意識をもって学習に臨める構成になっている。

- ・「もっと知りたい」では、実際の小学生の不安や悩みなどが多数提示されており、自分の生活と結びつけながら学習できるような工夫がされている。

〈表記・表現〉

- ・1ページの中の文字数やイラスト数が厳選されており、児童が必要な情報を整理して、着実に獲得できるような構成になっている。

- ・イラストや表などの発色が控えめなのに対して、発問や問題がはっきりと示されており、児童がポイントを押さえて学習できるようになっている。

〈総括〉

- ・学習の課題が明記され、学習のヒントを活用して、課題解決に向けて児童が主体的に学習できるように工夫されている。

- ・「活用して深めよう」では、理解したことを自らの生活で実践するための表現力が身につくよう工夫されている。

- ・各ページに新しい知識や補充の説明があったり、インターネットを使って学習できたりするなど、理解を深めるための工夫がされている。

わたしたちの保健 文教社

〈知識及び技能が習得されるようにするための工夫〉

- ・知識・技能の欄が色枠で強調されていたり、キーワードが太字になっていたりと、必要な知識・技能が見やすく整理されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・「考えてみよう」「話し合ってみよう」の欄では、イラストや資料、数値をもとに、児童が主体的に話し合い活動を行える工夫がされている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・「話し合ってみよう」など学習方法を示したり、課題解決に結びつくヒントを示したりと児童の学習意欲を向上させるような構成になっている。

<健康・安全についての理解を深めるための工夫>

・「新しい自分にレベルアップ」というタイトルの場面で、健康・安全についての理解を深める場面を設定し活動できるよう工夫されている。

<生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫>

・「発展」という項目を設定し、単元の内容に付随する内容を紹介するための場面を設定し学習できるよう工夫されている。

<資料>

・学習活動において、様々なイラストや写真、グラフなどが提示されており、児童の興味・関心や思考の深まりを引き出すよう工夫されている。

・「やってみよう」では、技能を獲得するための様々な方法（例：体ほぐしの運動や深呼吸）が具体的に提示し活用できるよう工夫されている。

<表記・表現>

・単元の見出しがはっきりしていて、学習活動も強調されているので、児童が本時の学習を明確にして授業に臨める構成になっている。

・説明のそばにイラストや写真が示されており、児童が具体的にイメージをもって学習に取り組めるようになっている。

<総括>

・各単元の導入に、動機付けページを配置することで、自分の生活と関連付けて学習に臨めるよう紙面の構成が工夫されている。

・「やってみよう」では、技能を獲得するための様々な方法が具体的に提示され、意欲的に取り組めるよう工夫されている。

・生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するため、挿絵、図、資料、写真、読み物資料等を活用し、考えさせるような工夫がされている。

小学保健 光文

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

・言葉の解説が細かく提示されていたり、キーワードが太字になっていたり、必要な知識・技能がわかりやすく整理されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・「考えよう」では、多様な資料が掲載されており、場面が想起しやすく、思考を深める工夫がされている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・単元の内容に関連するホームページや資料を豊富に掲載し、保健に関する知識について児童がしっかり学べる構成になっている。

<健康・安全についての理解を深めるための工夫>

・教科書の使い方の説明があり、「広げよう深めよう」のページを設定し学習できるよう工夫されている。

<生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫>

・教科書の使い方の説明があり、「自分の生活に生かす・伝える」のページを設定し学習できるよう工夫されている。

<資料>

・イラスト形式で様々な資料が多用され、ひと流れのイラストで考える場面を作るよう工夫されている。

・1ページに豊富な資料を掲載し、たくさんの情報を学習できるよう工夫されている。

<表記・表現>

・どのページも、1単位時間の学習の流れが示され、どの単元でも同じような学習過程が実施できるよう工夫されている。

・一つ一つの資料の説明が丁寧に記され、豊富な情報量から学習できるよう工夫されている。

<総括>

・言葉の解説が細かく提示されていたり、キーワードが太字になっていたり、基礎的・基本的な学習内容についてわかりやすく整理されている。

・単元の内容に関連するホームページや資料を豊富に掲載し、学習した内容についてイメージ化したり整理したりできる構成になっている。

・どのページも、1単位時間の学習の流れが示され、どの単元でも同じような学習過程が実施できるよう工夫されている。

みんなの保健 学研

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>

・キーワードが太字になっていたり、言葉の解説が添えられていたり、必要な知識・技能が見やすくまとめられている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・全ての単元において「考える・調べる」の欄に話し合う形態が明記されていて、他の人に伝える活動によって、思考を深める構成になっている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・様々な場面で、実習などの体験的な学習を取り入れることで、児童の学習意欲を高め、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。

<健康・安全についての理解を深めるための工夫>

・教科書の使い方の説明があり、単元の内容項目に「まとめる・深める」を設定し学習できるよう工夫されている。

<生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫>

・教科書の使い方の説明があり、単元の内容項目に「明日につながる」を設定し学習できるよう工夫されている。

<資料>

・写真やグラフ、挿絵などバランス良く配置されており読み手にとって興味を引く工夫が見られる。

・教科書自体がワークシートのような機能を有し、学習のまとめとして書き込めるよう工夫されている。

<表記・表現>

・1単位時間で学習する内容が見開きのページとなっており、要点をまとめた表記となるよう工夫されている。

・学習の流れが示されており、1単位時間でどのように学習を進めていくのかが分かるよう工夫されている。

<総括>

	<ul style="list-style-type: none"> ・保健学習の進め方が明記され、見通しをもって、児童が主体的に学習に向かうことができるように工夫されている。 ・「まとめる・深める」のコーナーでは、学習したことを基に、自分の考えを記述し、他の人と伝え合えるような構成になっている。 ・各単元の終わりに設定されている「生活につなげる」では、児童が習得した知識を生活実践に結びつける力を育めるよう工夫されている。
渡邊会長	質問等はあるか。
渡邊会長	がん教育や性教育はどのように扱われているか。
橋本指導主事	文教社は、病原体と病気について4ページくらいでている。東書も生活習慣病として疾病も含めて表記している。
秋本委員	健康ということで、タバコと肺がんについては多くの発行者で載せている。東書はページ数も多く怪我の防止、病気の予防について詳細に載っていると認識している。
渡邊会長	他にあるか。
高瀬委員	光文の報告書に資料が豊富とあるが、他の発行者と比べて際立って多いと理解してよいか。
橋本指導主事	どの発行者も多い。光文は、資料ページの活用やWebサイトの紹介もある。
渡邊会長	保健については、学校では話題にならないが、議会では質問される多くの内容を含んだ教科である。使いやすいだけでなく、今、社会で求められて部分についても見て行く必要がある。 他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	次に英語をお願いします。
野澤指導主事	<p>NEW HORIZON Elementary 東書 <知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unit 1 ごとのOur goalとまとめの「Enjoy communication」が概ね一致していて表現もわかりやすい。【Starting Out】で導入、【Let's Try】で単語の確認、「Your Turn」として【Let's listening】【let's Try】などの活動の流れになっている。【Let's Read & Writing】では巻末のワークシート（「わたしのせりふ」）に例文を確認しながら1文ずつ書き込める。巻末に音と文字表記の結びつきに注目した文字練習、アルファベット練習ができる「Sounds and letters」がある。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスルームイングリッシュの文例が少ない。外国の人へのインタビューの部分ではたくさんの英文を聞くことができ、分かったことを書くことで聞かれていること以上に思考力も身につけられる。英語とアルファベットの違いを問う「ことば探検」があり、表現方法を学ぶことができる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・各ユニットの終わりに2ページにわたって“Over the Horizon”という項目があり、各国の行事や文化について豊富に紹介されている。海外の様子について、カラー写真が大きく掲載されており、児童の興味・関心を引くものになっている。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫>

・過去形を2つのUnitで取り上げている。別冊Picture Dictionaryに、6ページ5・6年生の基本的な表現がある。4ページ「あなただけの表現を見つけよう」ということばを入れる活動がある。

<資料>

・アルファベットや単語カードが切り取れる。別冊で絵辞典がついていて、様々な豊富な英語表現について学べる。

<表記・表現>

・アルファベットは教科書体。4線は、ユニバーサルデザインが用いられ、文字を書きやすい。活動ごとにカラーのマークがつけられ、区別されている。1ページあたりの語彙も多く、たくさんの英語に触れることができる。見出しや文の文字の大きさはほぼ同じ。書く活動や尋ね合う会話文が大きく表示されている。

<総括>

・写真が大きく、各ユニットにおける活動の説明もシンプルなものわかりやすい。書く活動も程よく取り入れられ、無理なく取り組むことができる。それぞれのページで書くスペースもあるが、巻末に各ユニットで使えるワークシートもある。自分のことを話す活動や、他者になったつもりで尋ねたり他者を紹介したりする活動を取り入れている。

Junior Sunshine 開隆堂

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・レッスンごとに学習活動が端的に日本語表記されている。基本的な語彙や表現の音声に触れる活動が主となっていて、【Let' s Listen】【Let' s Chant】があり、【Let' s Play】では、ポインティング・ゲームやサイモンセズなどのゲームを組み込んでいる。レッスン単元の間と最後にproject 1, 2として、学習内容を生かして自分の思いを表現する場を設けている。書く活動は、「文字に慣れよう」教科書後半にまとめられていて、【Let' s Sing】として、JingleやSongなどの音声をもとに書く活動へつながっている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・3・4年生の復習ページがあるので、絵を見ながら、下に書いてある文を参考に思考力を広げながら楽しく想起できる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・各ユニットのなかで“Let' s watch and think”という項目があり、外国のあいさつ、行事、小学校の様子、スポーツ、食べ物などについて聞いて、考える活動が設定されている。特別に外国の文化を紹介するページはないが、各ユニットの中に豊富に写真が掲載されているため、各国の様子についてイメージを持ちやすい。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成す

るための工夫>

・過去形の学習を2つのLessonで取り上げている。巻頭に2ページCAN-DOマップがあり、振り返りができる。巻末に6ページ学んだことリストがあり、復習したところの振り返りができる。

<資料>

・レッスンで使う単語やアルファベットカードの種類が多い。切りとることができる。付録に中学校へつなげよう、中学校の様子が載っている。

<表記・表現>

・アルファベットは教科書体。4線は、点線と実線による表記でわかりやすい。活動ごとにカラーのマークがつけられ、区別されている。ページ数のとなりに英語表記もされている。

・絵や写真は子どもの好きそうなキャラクターに似ている雰囲気なので、取り組みやすいと思う。適宜、文法的な表記が小さく載っている。

<総括>

・ノート代わりに使えそうなワークシート集がついていて良い。1ページあたりの単語や英文の数が多い。また、自分のことについて英語や日本語で書く活動も豊富。

・一つ一つの活動に簡単な取り組み方が日本語や絵で書いてあるので、どのように表現すればよいかイメージしやすい。書く活動の中では、聞いたことを記述する部分が適宜あるので、日本語でも英語でも思考力を高めるための工夫がある。

JUNIOR TOTAL ENGLISH 学図

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・学習活動は日本語で細かい活動の説明があり、聞く・話す・読む・書く・紹介し合う／尋ね合うという段階が生まれ、充実している。登場人物を通して児童に身近な場面・相手・目的が設定されている。各ページに英語を書く活動があり、レッスンの最後のUse&Checkでは、学習内容の確かめと、自分のことを文章で書く活動がある。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・巻頭に、英語が使われているシーンという導入があるので、生活における英語表記を思い出したりいろいろな場面を考えたりする思考を育てられる。クラスルームイングリッシュやあいさつについて、豊富に文例があるので、様々な表現を学ぶ事ができる。

・「英語を聞き取ろう・英語らしく話そう」のページで文章の語尾のあがりさがりについて学ぶことができる。コラムのページがあり、外国語文化について日本語で書いてあり、異文化について学び、思考力を身につけることができる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・文化に関する事項が各レッスンに含まれており、他国の文化について豊富に紹介されている。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫>

・単元の最初に15分ごとの学習の進め方が書かれている。過去形の学習を2つのLessonで取り上げている。6年生の巻頭に2ページ5年生で学習した表現がある。

<資料>

・pre-lessonや歌、クイズの回答が載っていて、既習事項の確認や自身で答え合わせができるようになっている。

<表記・表現>

・教科書内の英単語はゴシック体。活動ごとにカラーのマークがつけられ、区別されている。英文の書き方のページは、英文が大きく見やすく書かれ、理解しやすい。

・英語を書く大きさが大きめで良い文字を小さく表示し、課題を詳しく説明している。書き写す活動の文字が大きく表示されている。

<総括>

・各レッスンの学習の進め方が細かく書かれ、教員が授業をするのに使いやすい。巻末にそれぞれのレッスンの歌がまとめて載っていて、思考力や表現力を高めることができる。

・15分ごとの活動内容が示されているため、聞いたり話したりするなど活動内容が多い。

CROWN Jr. 三省堂

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・レッスンごとに表現はやや専門的であるが日本語でめあてが設定されている。まとまりの最後の単元では学習したこと表現を生かして発表するpresentationが設定され、発表について見通し・準備、コミュニケーションと順序立てて示してある。【Listen & Talk】【Listen & Write】と基本的な表現や語彙聞き取るから始まり、アルファベットやローマ字、英単語に触れる活動が多い。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・ジャンプというページで、プレゼンテーションの仕方を学ぶことができる。英文の少ない絵のストーリーページがある。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・6年生のテキストでは「世界のまつり」について大きな写真でその様子が紹介されている。それ以外についてはイラストでの表現が多く、他社のものに比べると、外国の様子についての写真の掲載は少ない。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫>

・過去形の学習を2つのLesson（前後にGet Ready、Presentationもある）で取り上げている。

・巻末に1ページCAN-DOリストがあり、英語でこんなことができた！という振り返りができる。巻末に5・6年生で学習した主な表現がある。

<資料>

・アルファベットカードが切り取れる。活動に必要な単語・フレーズカードが種類ごとに載っている。

・時差について学ぶページがあり、その付録が巻末についている。

<表記・表現>

・教科書内の英単語はいろいろな書体が混ざっていて分かりにくい。4線は、ユニバーサルデザインが用いられ、文字を書きやすい。

・巻末の単語カードは、太くて大きな文字のため、とても見やすい。巻末の絵事典は、小さくて見にくい。

<総括>

・レッスン全体が3つに分かれていて、写真よりもイラストでの表現

が多い。各ページに多くの単語は登場するが、文章としての表記は少なめである。自分のことについて話したり発表したりする活動を取り入れている。

- ・巻頭にクラスルームイングリッシュなどのやりとりの英語表記がたくさん載っている。
- ・巻末に、日本の有名な場所や地域の英語表記での紹介、異文化についてなどが載っている。

ONE WORLD Smiles 教出

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・レッスンのめあてが日本語で表記されている。最小限の英語表記でイラストが中心であるが、学習活動については、日本語で端的な説明がされている。

・【Let's Read and write】として絵と文で学習内容を用いて自分のことについて、巻末にあるワークシートに書き表すことができる。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・全体的に1ページあたりの英語表記が少なく、絵や写真を見ながら様子を想像させる。芸能人やスポーツ選手など、現役で活躍する人たちの写真が使われていて、興味・関心を引き、思考力を高められる。

・英文の書き方について、少しだけ巻末に特集があり、各レッスンのワークシートが書く活動のまとめになっていて振り返りもついている。書く活動が最後に集約されているが、分量的に少ない。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・各ユニットの導入部分で“Let's watch”という項目があり、世界の子どもたちの様子について見たり、聞いたりする活動が設定されている。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫>

・過去形を2つのLessonで取り上げている。

・巻末にレッスンごとに2ページずつワークシートがあり、Final Activityを振り返る内容がある。

<資料>

・活動のためのシートやカードが切り取れるようになっている。

・巻末に特別なワークシートとシールが数枚ついているので、活動に楽しみが加わって思考力を伸ばせる。

<表記・表現>

・アルファベットは教科書体。活動ごとにカラーのマークがつけられ、区別されている。絵や写真が大きくて見やすい。Let's ListenやLet's Sing、Activityなど、活動の流れを大きく色分けして表示している。

<総括>

・著名人を多くとりあげた見やすい写真やイラストが豊富で、児童の興味・関心を引く。各ページに多くの単語は登場するが、文章としての表記は少なめである。レッスン内容が1ページ毎になっていて、活動が見やすい。英単語量は少なめ。理由やほかに分かったことを書くスペースが充分あり、表現をしやすい。自分のことを話す活動や、著名人や動物のことについて伝える活動を取り入れている。

Here We Go! 光村

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・身に付ける基本的な表現がUnitのタイトルになっている。【You can do it!】ではそれぞれのStepで学習した表現をすべて合わせて文章に書き表し、発表する流れになっている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・導入として世界の「あいさつ表現」があるので、各国の人の様子を、写真を見ながら思考を巡らせることができる。

・言葉の準備運動という巻頭のページで表現方法の導入がある。巻末に絵辞典がついていて、たくさんの英単語に触れられる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

・各ユニットの中には「World Tour」という世界の様子や文化に関する映像を見て、考える活動が取り入れられている。「世界の友だち」の中で世界の小学生の生活について知ることができる。写真も豊富で、児童の興味・関心を引く。

<聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫>

・過去形の学習を2つのUnitで取り上げている。巻末に2ページ5・6年生で学習した表現があり、学習した表現の振り返りができる。

<資料>

・アルファベットの4線にユニバーサルデザインの工夫がされている。巻末に、ホワイトボード用マーカーで書けるペンマンシップノートがついている。付録として少しシールがついている。

<表記・表現>

アルファベットは教科書体。4線はユニバーサルデザインが用いられ、書きやすいように赤線の上の線まで隙間が広くとってあり文字を書きやすい。活動ごとにカラーのマークがつけられ、区別されている。100単位の言い方が載っている。絵について、大部分で英語表記が併記してあるので、単語に触れる場面が多い。

・英語の歌がたくさん載っていたり英語の物語が載っていたりするので、英語圏への思考を高め、英語での歌詞や長い文章表現方法を知ることができる。

<総括>

・写真やイラストが豊富で、児童の興味・関心を引く。すべてのUnitが4Step (Hop. Step1. Step2. Jump) で構成されている。

・聞く活動から始まり、尋ねる活動、自分のことや他者のことを話す活動を取り入れている。

Blue Sky elementary 啓林館

<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>

・英単語・言葉を書き写す活動時・【Chant】に英語表記がある。【chant】では、アクセント表記がある。書き写す活動の他に「聞いてわかったこと」「自分のこと」を書き込む活動が多い。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

・Did you know? ページでは、異文化について学べる。Let's read and write のページでは、スペルや発音について学べる。<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットの中で外国の様子についての写真の掲載があるが、サイズが小さく写真の量も比較的少ない。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やりとり]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去形の学習を連続して3つのUnitで取り上げている。 <p><資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットカードが切り取れる。活動に必要な単語・フレーズカードが種類ごとに載っている。 <p><表記・表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットは教科書体。活動ごとにカラーのマークがつけられ、区別されている。ページの横に英語表記もされている。教科書の各ページの色使いが優しい色だが鮮明で見やすい。 ・巻末にはワードリストがついていて見やすいが、アルファベットカードは白抜きで、見にくい。 <p><総括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストが多く、写真は少ない。自分のことについて英語や日本語で書く活動が多く、思考力・判断力・表現力を育むことができる。チャンツの時に、英文の中の音の強弱について表記があるので、表現力をつけることができる。 ・振り返りのページには、最後に日本語で表記させる部分があり、一人一人の振り返りを詳しくみとることができる。自由表記ができる部分があるので、思考力や判断力、表現力を付けることができる。
渡邊会長	質問等はあるか。
渡邊会長	学図は、教科書内の英単語はゴシック体、三省堂は、教科書内の英単語はいろいろな書体が混ざっている。他の発行者は、教科書体である。学図、三省堂については、意図があるのか。
野澤指導主事	調査研究では、特にでていなかった。
渡邊会長	小学校5年生、6年生の英語の目標は、書くことより、聞くこと話すことなのか。
野澤指導主事	現行の学習指導要領では、外国語活動であり、話すこと聞くことのコミュニケーションが中心となっている。新学習指導要領では、それらは3年生と4年生の目標となっている。それをうけて5、6年生では、「コミュニケーションを図る素地」から「コミュニケーションを図る基礎」へとレベルアップされている。
小林委員	東書には、別冊Picture Dictionaryがついている。使い方次第で有効であると考える。
野澤指導主事	絵と単語がセットとなっているので、家庭学習でも使うことができる。
秋本委員	本格的に教科として始まるが、調査員から使い勝手についてどのような意見があったか。

野澤指導主事	学図のように単元の最初に15分ごとの学習の進め方が書かれていることによりモジュール学習にも活用しやすいという声があった。
渡邊会長	三省堂の学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫には、「他社のものに比べると、外国の様子についての写真の掲載は少ない。」とあるが、英語教育を進めていくうえで写真とイラストの効果の違いはどのような話があったか。
野澤指導主事	英語の目標の中に異文化理解も含まれており、イラストより写真の方がよい部分もあるという意見があった。
渡邊会長	QRコードで写真を表示できるという教科書はないのか。
野澤指導主事	QRコードはすべての教科書に掲載されている。
渡邊会長	QRコードを使用するには、PCや携帯電話が必要であり、実際に教室に持っていくことは難しいと考える。最終的な判断にはそのことまで考えなければならない。
渡邊会長	教出の思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫には、「書く活動が最後に集約されているが、分量的に少ない。」とあるが、どういうことか。
野澤指導主事	習った単語を1つか2つ入れて完成というページがあり分量が少ないと感じた委員がいた。
渡邊会長	教科書に書き込むことだけの想定で、プリントの活用は考えていないということか。
野澤指導主事	そうである。
渡邊会長	英語については初めての教科であり、慎重に審議していく必要がある。他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	最後に道徳をお願いします。
蓮見指導主事	<p>新訂 新しい道徳 東書</p> <p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の前にとびらのページがあり、問題が提起され、主体的に考えることができるように工夫されている。考えるポイント「考えながら読もう」も示されている。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年に情報モラルを扱った教材を配置している。高学年で携帯電話、スマートフォンに絞って資料が作成されている。発達段階に応じて、時代にあったテーマが取り上げられている。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年に「重要指導内容」を設定し、段階的・系統的に理解を深め

ることができるよう工夫されている。

〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉

・教材の初めに考えるポイントを示すことで、児童が課題意識をもつことができるようにしている。話合いの手引きとなる「考えるステップ」が掲載されている。

〈資料〉

・児童の興味関心を引くような実在するスポーツ選手や活躍した日本人の伝記が取り上げられている。全学年の巻末「付録、つながる 広がる」で日本の文化や伝統のよさや活躍する日本人が紹介されている。
・2ページにわたる大きな挿絵や写真が多く掲載されている。

〈表記・表現〉

・1年生は分かち書き、文節改行されている。カタカナにはルビが付いている。漢字は全学年までの配当漢字が使用されている。難解な言葉や必要な情報が脚注で解説されている。
・各教材の初めに、学習指導要領の四つの視点を色別のマークで示されている。

〈総括〉

・各学年に2つずつ、人との関わりで考えることができる学習が設定されている。
・「読み物教材」と「学習活動ページ」（出会う・ふれあう）で構成されていて、友達との交流や人間関係の構築を図る工夫がされている。
・児童の興味関心を引くような実在するスポーツ選手や活躍した日本人の伝記が取り上げられている。

かがやけ みらい 小学校道徳 学校図書

〈道徳科の目標に関わる工夫〉

・教科書「きづき」には、内容項目、主題、発問がなく、児童が自ら道徳的な問題に気付けるようになっている。別冊「まなび」に「心のパレット」を掲載し、道徳の授業の学びを自分に引き寄せ、道徳的価値を自分ごととして考えられるよう工夫されている。

〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉

・情報モラルに関する生活場面を取り上げ、コラムでは情報の受け手・発信者としての心構えを取り上げている。

〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉

・「生命の尊さ」を重点目標として各学年3教材掲載し、低学年は身近な命にふれる、中学年は命の連続性に気付く、高学年は努力する人々の姿を取り上げている。

〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉

・教科書「まなび」には、自分の考えや友達の考えを書き込むことができ、自己の考えを深めることができるように工夫されている。

〈資料〉

・写真や絵がメインの教材、新聞、コミック形式等の教材、スポーツ、実話、名作物語、生活文等多様な内容の教材が配置されている。
・大きな写真や絵、教材の内容を詳しく解説するための新聞記事やグラフなどが掲載されている。

〈表記・表現〉

・1年生は分かち書き、文節改行をしている。学年配当漢字には全て、配当外漢字にはその都度ルビを付している。用語解説が文末に表記さ

れている。

- ・学習指導要領の四つの視点がマークで示されている。「きづき」では、教材番号が色分けされ、「まなび」では教材が内容項目順で示されている。

<総括>

- ・教材文を掲載した読み物教科書「きづき」と、発問や体験的学習を掲載した活動教科書「まなび」の二分冊で構成されている。

- ・「まなび」は、同じ内容項目の学習を重ねて記録でき、複数時間の学習をつなげ、積み上げ、学びを深めることができよう工夫されている。

- ・写真や絵がメインの教材、新聞記事やスポーツを基にした教材が掲載されている。

小学道徳 はばたこう明日へ 教育出版

<道徳科の目標に関わる工夫>

- ・教材ごとに導入時の問いや学習の課題が明記されているため、児童に学習する価値を意識させることができる。「学びの手引き」では、発問例として「考え議論する問い」「価値理解を深める問い」「今後の行動や発展的な学習につなげる問い」が掲載されている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

- ・情報モラルについて高学年では複数の教材があったり、低学年では情報の取り扱い方についての教材となっていたり、情報機器との付き合い方を話し合う内容になっている。

<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫>

- ・低学年は物語教材、中学年は生活教材、高学年は人物の生き方から学ぶ教材を多く取り上げ、発達の段階に応じて教材の種類や文章量を配慮している。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>

- ・教材の前に拡大導入を設けている教材では、一人一人が道徳的課題についての考えをもちながら、学習に入れるようにしている。各教材では最後に発問例を挙げている。

<資料>

- ・他教科や学校行事との関連を図りやすくする教材配列をしている。挿絵や写真が豊富で、スポーツ選手や偉人、先人の伝記を題材にした教材がある。

- ・挿絵は、紙芝居風・刺繍・フェルト・人形等の多様なタッチで作成されている。

<表記・表現>

- ・1年生から分かち書き、文節改行をしている。漢字は教材ごとに初出にルビを付けている。当該学年以上の漢字にも初出にルビを付けている。難解な語句や必要な情報が脚注で解説されている。

- ・内容項目ごとに学習指導要領の四つの視点をマークで示している。目次は四つの視点で色分けされており、索引は内容項目ごとに分類して示されている。

<総括>

- ・それぞれの教材ごとに、活用できる発問例が多めに示されている。巻末の「学びの記録」で、学期末などに学習を振り返らせることができるように工夫されている。

- ・実際の行動と結び付けて道徳的価値を学べるよう「やってみよう」を設けている。
- ・絵本や詩、スポーツ選手、偉人、先人の伝記を題材にした教材がある。

道徳 きみが いちばん ひかるとき 光村

<道徳科の目標に関わる工夫>

- ・発達段階や資料に応じて、登場人物への自我関与、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を織り交ぜながら、道徳的価値についての理解を深めることができるように工夫されている。「考えよう・話し合おう」では、学習のめあてが示されている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

- ・情報モラルの教材とコラムを組み合わせたり、発達の段階に応じた問題を系統的に取り上げたり、6年間を通して情報モラルと向き合えるような教材が構成されている。

<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫>

- ・同じ内容項目を扱う教材は、児童の生活の実態や発達の段階に合わせて、内容や分量、世界の広がりなど、学年間のつながりや指導内容の重点化に配慮している。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>

- ・「考えよう・話し合おう」のコーナーに、道徳的問題を明らかにする問いや考えを深めるための発問があり、児童が課題意識をもって学びに向かえる工夫がされている。

<資料>

- ・教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる挿絵や大判を生かした迫力ある写真が効果的に配置されている。スポーツに関する題材や伝記を題材にした教材がある。
- ・巻頭に価値項目の関連と、自分とのつながりが見開きで示されている。

<表記・表現>

- ・1年生から分かち書き、文節改行し、数字についてのみ漢字を用いてルビを付け、カタカナには見開きページの初出にルビが付けられている。2年生以上で当該学年の配当漢字全てにルビが付けられている。
- ・教材ごとに学習指導要領の四つの視点がマークで示されている。索引は学習指導要領の四つの視点と内容項目ごとに分類して示されている。

<総括>

- ・登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、体験的な学習を織り交ぜ、自分のこととして考え、広げ、深められるように工夫されている。
- ・全学年、「みんないきてる みんなでいきてる」の巻頭詩で統一し、命を重視している。
- ・一枚絵から考える教材、絵本、スポーツ、先人の伝記を題材にした教材がある。

小学道徳 生きる力 日文

<道徳科の目標に関わる工夫>

・主題、導入発問、あらすじ、ねらいにせまる発問、考えたことやわかったことを確かめたり、未来への思いや課題について考えたりするための発問を全教材に掲載している。「学習の手引き」では、主体的に道徳的価値について考える学習が設定されている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

・情報モラルについて、低学年は情報の意味や影響、中学年以降は通信機器に関する教材となっており、情報モラルの問題を話し合う内容のコラムが掲載されている。

<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫>

・1年間及び6年間を通して、系統性を意識し構成されている。スタートカリキュラムから社会の一員としての自覚を育むまでを意識し、校種間連携に配慮されている。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>

・「道徳ノート」が別冊になっており、教材ごとに書くことができるように工夫されている。また、自由記述欄を設け、柔軟に活用できるように工夫されている。

<資料>

・オリンピック・パラリンピックを素材にしたものやスポーツ選手の実話、様々な国の偉人や実在する人物が扱われ、感想・共感を呼ぶ内容のものが選定されている。

・見開きの大きな写真や絵、漫画形式の挿絵が掲載されている。

<表記・表現>

・1年生は分かち書きをしている。また、カタカナにルビが付けられている。漢字は当該学年の配当漢字までを使用し、当該学年以上の漢字の全てにルビが付けられている。難解な語句や必要情報が頭注で解説されている。

・教材ごとに学習指導要領の四つの視点がマークで示されている。目次は四つの視点で色分けされている。索引は四つの視点と内容項目ごとに分類して示されている。

<総括>

・教材の冒頭で、問い掛けやあらすじを示し、見通しがもてるように工夫されている。

・「道徳ノート」には、学習内容を記入でき、授業スタイルや児童の実態に合わせて活用できるように工夫されている。

・アニメを基にした教材、スポーツに関する人物を扱った教材が掲載されている。

小学道徳 ゆたかな心 光文

<道徳科の目標に関わる工夫>

・各教材の冒頭に導入の発問が示されている。「まとめる」の部分で、その時間に学習し、「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」が確認できるようになっている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

・「規則の尊重」や「相互理解」などの内容項目の教材で情報モラルに関わる内容を題材として扱い、情報社会で適正な活動を行うための考え方や態度について考えられるようになっている。

<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫>

・巻頭に発達の段階に合わせ学習の仕方や意義、内容、教科書の見方、ノートの例が示され学びの準備がしやすい。

〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉

・考える活動を促す紙面構成になっていて、導入の問題意識をもたせる問い、展開で多面的・多角的な考えを促す問い、終末での学んだことをまとめるための問い、発展として実践意欲につなげるための問いが全教材に掲載されている。

〈資料〉

・冒頭に登場人物のイラストを入れたり、1年生の教材はイラストを中心にしたりして考える時間を確保している。

・1・2年生の教科書には「オリンピック・パラリンピック」に関連する教材、3年生以上の教科書には「オリンピック・パラリンピック」に関連する資料を掲載している。

〈表記・表現〉

・1～3年生では全ての漢字にルビを付し、1年生ではカタカナにもルビを付している。低学年は分かち書き・文節改行が取り入れられている。全学年で、難解用語や情報は脚注で解説している。

・内容項目ごとに色分けされ、各学年の重点内容項目には特別なマークで示されている。

〈総括〉

・重点内容項目については複数の教材を続けて掲載し発展的な学習をすることができる。

・「みんなでやってみよう」では、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築につながるようにしている。

・教材とつなげて考えを深めたり広げたりするコラムが掲載されている。

新・みんなの道徳 学研

〈道徳科の目標に関わる工夫〉

・本文と出会う前に主題名を記載していない。児童が主体的に課題を発見することを大切にしている。

〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉

・情報モラル、防災教育などの現代的な課題について積極的に取り上げ、「学びのページ」でそれらの課題を自分との関係において考えられるようにしている。

〈発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫〉

・各学年で重点とする内容項目を設け、繰り返しの指導で段階的・系統的に理解を深められるような配列にしている。

〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉

・特定の価値観に児童が縛られず、柔軟に考えることができるように教材の冒頭に主題名を記載しない工夫がされている。

〈資料〉

・さし絵や写真、資料などを大きく豊富に載せ、効果的に配置されている。また、物語、詩、漫画、イラスト、写真での展開など、多様な形式の教材で構成している。

・日本の各地域に関連した内容教材を多く掲載している。

〈表記・表現〉

・1・2年生では全ての漢字にルビを付し、1年生ではカタカナにも

ルビを付している。低学年は分かち書き・文節改行が取り入れられている。難解用語や情報は脚注で解説している。

・内容項目が視点ごとに色分けされており、教材文には冒頭にマークで示している。

<総括>

・4種類の「学び方のページ」（深めよう、つなげよう、やってみよう、広げよう）を設け、自ら考え、友達と意見を交わし、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めさせる工夫がある。

・主体的に学ぶことができ、児童に問題意識をもたせるために、主題名を記載していない。

・他の教科や様々な教科活動との関連、および、家庭や地域との連携を図りながら、道徳的価値の視点で学習が深められる教材となっている。

みんなで考え、話し合う小学生の道徳 廣あかつき

<道徳科の目標に関わる工夫>

・本冊では、教材をもとに考える対話的な学習を通して自己の生き方について考えを深めることができるようになっている。「道徳ノート」では書くことを通して道徳的思考や道徳的価値の理解を深めることができるようになっている。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>

・全学年で情報モラルに関わる教材を掲載し、発達段階に応じて多面的・多角的に考えられるようにしている。

<発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫>

・各学年で重点内容項目を設け、2時間連続で配置し、重点ユニットとなっている。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>

・別冊「道徳ノート」に設けた書き込み欄などの活用により、二冊を併用して道徳的課題に向き合えるようになっている。

<資料>

・1年生の教材は動物を登場人物とした物語教材を多く取り入れ、場面絵や写真が多く掲載されている。

・読み物教材だけでなく、一枚の写真や詩、漫画、新聞記事をもとに考える教材なども掲載されている。先人の伝記や、様々なジャンルで活躍する著名人、スポーツ選手等を扱った教材が多数掲載されている。

<表記・表現>

・当該学年の配当漢字を含む未習の漢字には、全てにルビを付している。低学年は分かち書き・文節改行が取り入れられている。難解用語や情報は脚注で解説している。

・教材文の主題名を内容項目の視点ごとに色分けしている。

<総括>

・中学年以降のいくつかの教材には、教材と関連した特集ページを設け、児童の学びを深めることができる。

・本冊「みんなで考え、話し合う」と別冊「自分を見つめ、考える」の二冊で教科書となっている。「道徳ノート」は、内容項目ごとにまとめられるようになっている。

・学習の記録として、授業を通して考えたことを記述する書き込み欄や、授業を振り返りながら書き込むページ、教材ごとの学びを自己評

	価するページなどの欄がある。
渡邊会長	質問等はあるか。
福田委員	教科になったが、教材も含めて調査研究でどのようなことが話題にあがったか。
蓮見指導主事	評価が必要になったことで子供の変容が見とれるように、書いたものが残っていく等、教科書以外にノートのような冊子があった方がよいのか、それぞれが工夫しながらプリントなどを使って書いていった方がよいのかという話はあった。
福田委員	教材についての話はなかったのか。
蓮見指導主事	なかった。
秋本委員	現代的な課題などの題材を教材として取り上げることに例えば情報モラルや命の教育について調査研究でどのようなことが話題にあがったか。
蓮見指導主事	情報や命についてはどの発行者も扱っているという話がでていた。
渡邊会長	学図、日文、あかつきの3社がノートを含めての教科書ということでよろしいか。
蓮見指導主事	はい。
渡邊会長	文部科学省がだしている「心のノート」との兼ね合いはどうか。
柿沼指導主事	道徳教育用教材「心のノート」は全面改訂され「私たちの道徳」に変わっている。「私たちの道徳」の活用の仕方については、各学校で年間指導計画を立てる際に、随時入れ替えている。
渡邊会長	年間35時間分より教材数が多いので、どれを扱うか選ぶということではどうか。
蓮見指導主事	そうである。
渡邊会長	教科書の特徴のなかには、主題や内容項目、発問等を載せないで児童が主体的に問題を発見するよになっているものと主題がはっきりしているものがあるが、どちらの方が活用しやすいのか。
蓮見指導主事	主題や発問が掲載されないことで、「考え、議論する道徳」という面では、より自由で深い議論ができる。その一方で、若手教員にとっては価値項目がぶれてしまい、ただの話し合いになってしまう可能性もあり、それらを載せることで一定水準を保つた道徳の授業ができる。
渡邊会長	どちらを重視するかや解決方法はでなかったのか。

蓮見指導主事	どちらがよいという意見はなかった。
渡邊会長	若手教員にとって主題や発問掲載されないことは抵抗があるということか。
蓮見指導主事	研修を積んだり、教材研究をしたりすることで指導は問題ない。
渡邊会長	他にあるか。
各委員	(なし)
渡邊会長	以上で本日の報告は終了とする。明日は、中学校の報告を行う。これで議長の任を解かせていただく。
渡邊学校教育課長	事務連絡を事務局から申し上げる。
清水指導主事	【事務局より連絡】 ・資料の4～7は、明日机上に置く。 明日も会場は同じ、開始時刻は9時とする。
渡邊学校教育課長	【閉会】

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和元年 9月30日

署名 渡邊義昭 

署名 秋本文子 

署名 福田孝夫 